資料紹介

北海道博物館所蔵の林梅家資料 (一)
—ヨイチ場所請負初期関係史料—

東 俊佑・三浦泰之・ちやれんが古文書クラブ

キーワード

蝦夷地 (Ezochi)・江戸時代 (Edo Period)・
場所請負制 (Subcontracted Trading Post System)・
くまじ字 (Kuzushiji)・古文書(人) (Komonjo Club Activities)

はじめに —「ちやれんが古文書クラブ」について—

本稿は、令和二年(二〇二〇)に立ち上がった古文書学習サークル「ちやれんが古文書クラブ」の活動として実施された林梅家資料(当館所蔵)の講読について、その活動成果である古文書翻刻文(積文)を紹介するものである。なお「ちやれんが」は、北海道博物館の愛称「森のちやれんが」に拠る。

「ちやれんが古文書クラブ」は、当館歴史研究グループ学芸員の三浦と東が発起人(世話人)となり、当館が所蔵する古文書の講読に興味・関心のある一般参加者を募って立ち上がった道民参加型学習サークルである。

博物館を主たる場として活動を展開する利用者組織について、布谷知夫は、①博物館の補助活動を行う施設従属型、②博物館を使った独自の組織活動を行う施設活動型、③場として博物館を活用した独自活動を行う自主活動型、の三つのタイプに分類する(布谷二〇一四・一九)。「ちやれんが古文書クラブ」は、活動が軌道に乗るまでの今後数年間は、博物館が参加者を募り、世話人である当館職員が主体的にクラブ活動を運営する心算である。講読する古文書は当館所蔵の資料であり、その翻刻・紹介は当館の活動でもあることから、

現状のクラブの性格は①施設従属型に近いものと言える。将来的には、北海道の歴史に興味・関心を持つ参加者が主体的に調査研究活動を行うなかで、当館資料を活用する②施設活動型の利用者組織への変容をめざしている。

令和二年(二〇二〇)度は、このクラブに一三名の応募があった。活動は月一回程度とし、年度内で二回の開催を予定した。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の余波を受け、全一二回のうち一回は中止となった。

講読する資料である林梅家資料は、江戸時代後半の一九世紀ごろにヨイチ場所請負人を務めた竹屋林家(竹屋は林家の屋号)に伝わった文書群の一部をなす。この文書群は、余市水産博物館、北海道立図書館、札幌市中央図書館などにもその一部が所蔵されており、通称「林家文書」として知られるものである。本クラブでは、平成二十二年(二〇〇九)に刊行した『林家資料目録』(北海道開拓記念館二〇〇九)に則り、令和二年度は整理番号B1から順番に読むこととした。本資料紹介は、令和二〜三年度にかけて講読したB1〜B9を翻刻紹介するものである。このB1〜B9は、竹屋林家がヨイチ場所請負人となった文政八年(一八二五)前後の年代のものである。

当館の教育普及事業は、これまで講演会、講座、ワークショップなどをはじめとした「普及行事」と呼ばれる形態の事業を中心に展開されている。それらの多くは、館職員たる学芸員が何らかの目的のために企画した事業である。毎年度ごとに各行事は企画され、その都度参加者を募集して実施される。毎年度同じような行事をくり返し開催するものもあるが、多くはその年限りで行う一過性の行事である。博物館の利用者が数年、あるいは数十年にわたって当館の行事に参加し、博物館や博物館資料を使って継続的な学習活動を行うことを想定したのではない。こうした事業運営は、伊藤寿朗によれば、利用者の知的好奇心・探究心を満たすための一過性の見学施設Ⅱ第二世代型博物館に典型的

東 俊佑・北海道博物館 研究部 歴史研究グループ
三浦泰之・北海道博物館 研究部 歴史研究グループ
ちやれんが古文書クラブ・北海道博物館道民参加型学習サークル

に見られる形態である（伊藤一九九三・一四二）。利用者の博物館活動への参加体験意識（積極的な関わり意識）は希薄であり、利用者は博物館に対して受動的である。一方の博物館側も、利用者の博物館資料に関する継続的な学習活動が、将来の博物館の資源になるという意識が希薄であり、「博物館で人を育てる」という意識も希薄であると言える。

布谷知夫は、博物館の研究は、専門家としての学芸職員の研究と、学芸職員と一緒に研究をするアマチュア研究の共存が普通であると述べ、アマチュア研究者の数を増やすことが博物館の活性化につながると説く（布谷二〇〇五・一〇一）。

当館では、都道府県立の地域博物館において一般的に見られる市民参加型活動の促進が課題となっている。博物館の主要な役割は資料の保存であり、文化の継承であるならば、単に〈もの〉を保存するだけでなく、〈情報〉や〈技術〉、そして〈ひと〉を一体的に継承するのが博物館の本来の役割であるはずである。道民参加型学習活動の推進とは、博物館にとってアマチュア研究の促進であり、情報と技術の蓄積であり、そして人材の育成である。こうした活動が今後少しずつ根付き、そこで活動する人が博物館のファンやサポーターとなり、継続的な学習活動により蓄積される情報や技術、そしてそこで活動する人そのものも博物館の財産としていかなければならない。（東俊佑）

参考文献

- 伊藤寿朗一九九三、市民のなかの博物館、吉川弘文館。
 布谷知夫二〇〇五、博物館の理念と運営―利用者主体の博物館学、雄山閣。
 布谷知夫二〇一四、博物館と利用者組織との関係、北海道博物館友の会設立実行委員会編、北海道の地域住民と博物館をつなぐ、ミュージアム・エージェンツ（世話人）育成事業、実施報告書、北海道博物館友の会設立実行委員会。
 北海道開拓記念館二〇〇九、林家資料目録（北海道開拓記念館一括資料目録第三八集）、北海道開拓記念館。

史料編

「ちゃれんが古文書クラブ」において講読した史料（次頁の「表1」のとり）について、東がテキスト入力・編集作業を行い、三浦・東がこれを校訂した。各史料の解題は東が執筆し、末尾に一括して掲載した。

各史料を全丁撮影した画像は、北海道博物館ウェブサイトのなかの「収蔵資料検索」により閲覧が可能なため、本資料紹介ではこれを省略した。

翻刻は、次の凡例に拠り行った。

〈凡例〉

- (1) 旧字体・異体字・略字は、原則として当用漢字に改めた。
- (2) 変体仮名は、普通の平仮名に改め、合字も分解して普通の仮名とした。ただし、*o*（より）、江（え）、与（と）、之（の）、者（は）、茂（も）はそのままとした。
- (3) 読点は校訂者が付し、校訂者による註記は「*o*」で示した。「*o*」は翻刻どおりであることを示す校訂者による註記である。
- (4) 翻刻文中、現在では使われない不適切な用語もあるが、史料としての性格上、そのままとした。
- (5) 各史料冒頭の「*o*」内は、『林家資料目録（北海道開拓記念館一括資料目録第三八集）』の整理番号を示す。
- (6) 翻刻文中の□は判読不能の文字一字、「*o*」は二字以上の判読不能の文字を示す。
- (7) 抹消訂正文字は、左傍に「*o*」を付して右傍に訂正文字を細書した。
- (8) 丁数と表裏の別を文末に〔算用数字オ〕・〔算用数字ウ〕で記した。なお、紙釘装の資料は、表紙・裏表紙として使われている丁も一丁と数えた。

東 俊佑ほか 北海道博物館所蔵の林柁家資料（一）

表1 林柁家資料B1～B9の基本情報

整理 番号	収蔵 番号	資料名	数量	形態	年代	大きさ (cm)		丁数	作成者・著者 差出→宛所	備考
						縦	横			
B1	153940	ヨイチ場所引渡一件	1冊	縦帳	午〔文政5年〕 2月	23.7	16.8	34	ヨイチ御場所支配人 勘五郎→イシカリ御 詰所	
B2	153941	ヲシヨロ場所引渡一件	1冊	縦帳	午〔文政5年〕 2月	23.5	16.4	18	ヲシヨロ御場所支配 人勘六→イシカリ御 詰所	
B3	152901	上下ヨイチ御場所漁業手 配并蝦夷人共取扱方日記	1冊	縦帳	文政5年	28.3	19.8	12	ヨイチ御場所運上家	
B4	153855	〔ヨイチ場所仕込直段 等書上帳綴〕	1綴		文政7～8年	25.0	17.5	60		5冊合綴
		(一) 諸品代附帳	1冊	縦帳	文政7年 12月	—	—	11		
		(二) 定例直段附調子	1冊	縦帳	西〔文政8年〕 6月	—	—	13	柏屋勘五郎→竹屋	
		(三) ヨイチ御場所残り物引請 帳又十印を請取諸品書	1冊	縦帳	西〔文政8年〕 6月	—	—	14	→柏屋勘五郎・市兵 衛	
		(四) ヨ市御場所古道具直段附 又十印を請取諸品代附書	1冊	縦帳	西〔文政8年〕 6月	—	—	17	→柏屋勘五郎・市兵 衛	
		(五) 与市御場所帳場諸用取扱 方振合書	1冊	縦帳	文政8年 西8月	—	—	5	ヨイチ運上家	
B5	153853	ヨイチ御場所仕入物書上 扣帳	1綴		—	—	—	34		2冊合綴
		(一) ヨイチ御場所仕入物書上 扣帳	1冊	縦帳	文政8年 10月	24.5	17.2	17	ヨイチ御場所支配人 長三郎	
		(二) ヨイチ御場所仕入物書上	1冊	縦帳	西〔文政8年〕 10月	24.5	17.2	17		
B6	152996	申上候事	1通	縦紙	文政8年 8月3日	34.0	49.0		ヲツカイホほか4人 →運上家	
B7	152899	御場所諸品直段附帳	1冊	縦帳	文政13年 11月	26.8	20.0	31	上ミ下ヨイチ運上家	
B8	152902	上下ヨイチ御場所年中日 要記	1冊	縦帳	文政13年 11月	30.5	20.7	81	運上家	
B9	152900	上下与市御場所年中日記 追書	1冊	縦帳	文政13年 11月	30.4	20.4	12	運上家	

「B1」ヨイチ場所引渡一件

○表紙〔1オ〕

〔外題〕
「ヨイチ場所引渡一件」

○半丁白紙〔1ウ〕

ヨイチ御場所年中取扱向書上〔2オ〕

○半丁白紙〔2ウ〕

非常御備向心得方書上

一、烽火台 壱ヶ所 鋪三間四方積木
高サ壱丈

但在来年数相立候得共、御詰所方御沙汰も御座候二付、年々足積木
手入仕置、御差支之儀無御座候、

一、御用地御初年被 仰渡候、早船早走り急〔3オ〕御注進之儀茂、御場所所有合
持符船、早走之儀者、居合番人、稼方共之内早足之もの相撰置、是又急御
注進御差支無御座候、

右之通相違無御座候、以上、

午二月

ヨイチ御場所

支配人

勘五郎

イシカリ

御詰所〔3ウ〕

鰥寡孤独并奇特之者病夷手当方仕来書上

一、鰥寡孤独之者救方之儀者、蝦夷人共之内江預ヶ置、世話為致候儀茂御座
候、猶世話いたし候もの無之、極難之もの者、運上家江取寄、夫々介抱并
衣類等茂相与へ置申候、此節者右様難儀之者〔4オ〕一切無御座候、

一、病夷有之節者、イシカリ表江願出、御医師様御見廻り相願、又者疑敷病人
之義者御見廻り込差扣候儀も御座候、煎薬之儀も彼方ニ而為煎候而ハ、加
減等も相分不申義二付、運上家ニ而煎、日々三度も相与へ申候、介抱之儀
者其病人ニ応し、米、〔4ウ〕干魚等差遣申候、手近之場所者運上家元へ取
寄、夫々介抱致遣候儀ニ御座候、

一、疫病痘瘡都而流行病者、番人為差添、山奥江為立退、介抱手当致置、外夷
人通路差止メ可申候、

一、老人、幼もの手当介抱之儀者、矢張鰥寡孤〔5オ〕独もの同様取扱来申候、
右之通是込取扱仕来申候処、相違無御座候、以上、

午二月

ヨイチ御場所

支配人

勘五郎

イシカリ

御詰所〔5ウ〕

覚

一、当御場所御役塩鯨三拾樽、御私領仕来ヲ以、松前御役所江年々奉上納
候、

一、蝦夷人共番人共江申過、或者致手違等候節者、償取置候儀、御私領仕来ニ
御座候、尤程相立候得者、右品返し遣申候、〔6オ〕

一、御場所境

西チヤラチナイ滝 フルヒラ境
東フンコベ 崎 ヲシヨロ境

右之通相違無御座候、以上
午二月

支配人

勘五郎

イシカリ

御詰所〔6ウ〕

漁業手配仕来書上

一、運上家前浜春漁之節者、運上家網船等手配不仕、蝦夷人共斗ニ而漁事為致、差網之儀者、運上家より夷人江吉放宛貸付、漁事為致候儀仕来ニ御座候、

一、釣物鱒、鮭、并海単、鮑之類も、夷人共自分〔7オ〕商売ニ而漁事仕候、

一、運上家より西方字ヌツチ出張番家壹軒、春漁之節者、番人貳人、三半船壹艘、持符船壹艘、網六拾放、其外釣物漁事仕候、夏漁海単、鮑之節茂、夷人共取高日々改与して、番人壹人差置候、

一、右同断字ヤマウシ出張番家壹軒、春漁之節、〔7ウ〕番人貳人、囘合船壹艘、ほつち船壹艘、網六拾放手配仕候、夏漁前同断、秋味之節、番人貳人、囘合船壹艘、ほつち船壹艘、起し網壹流〔統〕、奥行四十間、幅四丈、右網ニ而漁事仕来申候、

一、右同断字ヲタンコシ出張番家壹軒、春漁之節、番人貳人、三半船壹艘、ほつち船壹艘、網數〔8オ〕六拾放、釣物漁事仕候、夏漁秋味無御座候、

一、右同断字テタリヒラ出張番家壹軒、春漁之節、番人貳人、三半船壹艘、ほつち船壹艘、網六拾放、釣物夏漁前同断、秋味之節、船數春漁同断、起し網壹流〔統〕、奥行四拾間、幅四丈、右網ニ而漁事仕候、〔8ウ〕

一、右同断字シユマトマリ出張番家壹軒、春夏漁之節、前同断、秋味漁無之候、

一、右同断字ユウナイ出張番家壹軒、春漁夏漁共前同断、秋味漁無之候、
一、上ヨイチ川運上家、秋味之節、糸引網打廻し、六百間網船壹艘手配仕候、川内ニ而蝦夷網九流〔統〕ニ而漁事仕候、

一、ヲシヨロ領字ラモシマナイ〇トマリ〇モ、ナイ〇チコタン、右四ヶ所より蝦夷網壹流宛、ヲシヨロ夷人当川ニ而漁事仕、日々番人差遣、取立高相改申候、

一、同領シヲヤ之儀者、ヨイチより蝦夷人樞網壹流〔9ウ〕船共差遣、夷人共斗ニ而漁事仕候、漁宜敷年者、番人取高改与して差遣申候、右ヲシヨロ江罷越し、秋味漁業仕候儀者、前々仕来ニ御座候、

但ヲシヨロ夷人も秋味漁事仕候得共、矢張荷物者ヨイチ運上家ニ而買入仕候仕来ニ御座候、
右之通相違無御座候、以上、〔10オ〕
午二月

午二月

ヨイチ御場所

支配人

勘五郎

イシカリ

御詰所〔10ウ〕

蝦夷人共より産物買入直段并運上家雇夷人給代仕来

一、鱒 八束二付 代造米壹俵

一、干鱒 八束二付 前同断

一、鮭 拾束二付 前同断

一、干鮭 四束二付 前同断〔11オ〕

一、煎海単 三百二付 代造米壹俵

一、鮑 六百二付 前同断

一、秋味 四束二付 前同断

但積取船滞船中、右直段を以買入仕、右船出帆後者、五束二付造米壹俵之買入ニ御座候、

一、春漁雇之もの、其丈夫不丈夫ニ応じ、壹人ニ付造米〔11ウ〕七俵五五俵迄之

勘定ニ差遣申候、

右之通相違無御座候、以上、

午二月

ヨイチ御場所

支配人

勘五郎

イシカリ

御詰所〔12オ〕

○半丁白紙〔12ウ〕

ヲムシヤ之節蝦夷人共江差遣候品并蝦夷人役儀申渡候節差遣候品書

上

一、煙草式把宛 役蝦夷人壹人江

但役夷人共江兼而被 仰渡候御法度之趣為申聞相濟候而、蝦夷台盃ニ

而清酒式盃宛、御詰合様方被下候積り為申聞支配人方差遣為給申候、

白米飯南部碗ニ而壹盃宛膳部ニ而為給申候、尤菜物者無御座候、

〔13オ〕

一、平夷人共江者、吸物碗位之盃ニ而式楯宛為給、其後南部碗ニ而飯壹盃宛為給申候、

一、女ノ子、セカチ江、三ツ目かさニ而式盃宛為飲、飯壹碗相与へ申候、

一、惣蝦夷人江、式斗入酒四拾樽余、彼等漁勘定之内ヲ以貸附、銘々給候儀ニ

御座候、〔13ウ〕

一、夏秋兩度ヲムシヤ仕候、秋ヲムシヤ之節者、鮭漁取懸候前、ヲシヨロ役夷

人、平夷人共罷越、ヨイチ夷人同様ヲムシヤ式いたし遣、漁事取懸申候、但ヲシヨロ夷人、近年〔手〕ニ而罷越不申候、然共年々ヲムシヤ前日ニ

ハ同所運上家迄遣書差遣申候、

一、蝦夷人共役儀申渡、役替之節、別段之品差遣候例茂無御座候得共、柄提ニ

而清酒壹楯差遣申候、

右之通相違無御座候、以上、〔14オ〕

午二月

ヨイチ御場所

支配人

勘五郎

イシカリ

御詰所〔14ウ〕

鯡二八取之者名前并場所地名書上

下ヨイチ領字ヌツチ出稼

一、伏木戸村 吉松

一、同 専右衛門

一、泊り村 勘四郎

一、同 間之吉〔15オ〕

一、泊り村 富之助

一、同 権太郎

一、同 喜之助

一、同 勘之丞

一、同 伊八

一、同 清蔵〔15ウ〕

一、塩吹村	佐吉	一、原口村	三十郎
一、同	利兵衛	一、小砂子村	善四郎
一、泊り村	義之丞	一、石崎村	元右衛門〔18才〕
一、同	孫八	一、同	三治郎
下ヨイチ領字		一、同	徳治郎
一、石崎村	藤吉〔16才〕	一、乙部村	文吉
一、同	金助	一、同	三郎兵衛
一、塩吹村	与三	一、白符村	久助
一、同	三吉	一、大沢村	豊吉〔18才〕
一、熊石村	九兵衛	一、松前神明町	留五郎
一、津花村	治郎吉	一、大沢村	熊五郎
一、江良町村	治郎右衛門〔16才〕	一、同	勘九郎
一、同	三吉	一、寺子屋町	勘七
一、同	鉄五郎	一、白符村	房吉
一、塩吹村	松五郎	一、大沢村	市治郎〔19才〕
一、同	文之助	一、同	嘉吉
一、同	金太郎	一、同	伊兵衛
一、宮ノ哥村	万吉〔17才〕	一、江良町村	源八
一、宮ノ哥村	寅吉	一、同	弥惣次
一、同	亦吉	一、同	佐五右衛門
一、同	酉松	一、白符村	五右衛門〔19才〕
一、塩吹村	利八	一、同	孫治郎
一、同	七郎右衛門	一、同	留蔵
一、同	万吉〔17才〕	一、松前中町	伊之吉
一、石崎村	寅吉	一、江良町村	吉右衛門
一、礼髭村	権三郎	一、石崎村	清七
一、五勝手村	清八	下ヨイチ領字テタリヒラ出稼〔20才〕	

- 一、枝ヶ崎町 宗兵衛
- 同領字シユマトマリ出稼
- 一、塩吹村 勝五郎
- 一、同 九之助
- 一、同 清太郎
- 一、同 半七〔20ウ〕
- 一、上之国村 仁吉
- 一、同 幸次郎
- 一、石崎村 金八
- 一、泊川町 山三郎
- 一、同 定吉
- 一、同 嘉吉〔21オ〕
- 一、博知石町 定五郎
- 一、伝治沢町 三治
- 同領字ユウナイ出稼
- 一、根部田村 金七
- 一、同 七三郎
- 一、同 勘六〔21ウ〕
- 一、同 七兵衛
- 一、泊り川町 吉松
- 一、枝ヶ崎町 庄兵衛
- 一、唐津内町 留蔵
- 一、川原町 銀蔵
- 一、同 佐兵衛〔22オ〕
- 一、塩吹村 徳松
- 〆惣人数八十五人

内訳

- ヌツチ 十四人
- ヤマウシ 四十八人
- テダリヒラ 壹人
- シユマトマリ 十式人
- ユウナイ 十人〔22ウ〕
- 右之通相違無御座候、以上、
- 午二月
- ヨイチ御場所 支配人 勘五郎
- イシカリ
- 御詰所〔23オ〕
- 〇半丁白紙〔23ウ〕
- 去巳年出荷物并囲荷物共書上
- 一、胴鯡 壹万四千束
- 一、外割鯡 九千束
- 一、干鱈 八百束
- 一、鯨鱈 四百五拾本
- 一、白子 三百廿本〔24オ〕
- 一、笹目 貳百本
- 一、身欠 千本
- 一、煎海胆 七本但百斤入
- 一、繫貝鮑 廿五本
- 一、干鮓 三百束
- 一、塩引鮓 四百束〔24ウ〕

内囲荷物

鮭切囲 四百束

繫貝鮑 四本

笹目 百本

〆惣石高式千三百六拾三石式斗目〔25オ〕
右之通相違無御座候、以上、

午二月

ヨイチ御場所

支配人

勘五郎

イシカリ

御詰所〔25ウ〕

覚

一、凶合船 壹艘

一、三半船 六艘

一、持符船 六艘

是者運上家遣漁舟ニ御座候、

一、蝦夷船 百廿艘〔26オ〕

是者蝦夷人共所持漁船ニ御座候、

一、三半船 式十四艘

一、ほつち船 四十四艘

〆 是者鮭二八取之者共御場所へ囲置、年々漁中斗り相用へ候分
右之通相違無御座候、以上、〔26ウ〕

午二月

ヨイチ御場所

支配人

イシカリ

御詰所〔27オ〕

〇半丁白紙〔27ウ〕

覚

一、泊川町 支配人

勘五郎

一、唐津内町 通詞

幸吉

一、蔵町 番人

仁助

一、枝ヶ崎 同

治三郎

一、同 同

竹松〔28オ〕

一、川原町 番人

甚右衛門

一、東上町 同

与吉

一、博知石町 同

長治郎

一、惣社堂町 同

藤四郎

一、唐津内沢町 同

留五郎

勘五郎

一、東新町 同

勝三郎〔28ウ〕

一、端立町 同

泰吉

一、東上町 同

清三郎

一、同 同

清蔵

一、東下町 同

長兵衛

一、唐津内町 同

文次郎

一、泊川町 同

伊勢松〔29オ〕

一、泊川町 番人

甚兵衛

〆拾八人

右之通相違無御座候、以上、

午二月

ヨイチ御場所

支配人

勘五郎

イシカリ 御詰所〔29ウ〕

上下ヨイチ御場所蝦夷人家数人別書上

一、家数 八拾九軒

一、人別 五百六十四人

内 男 式百八十三人
女 式百八十一人〔30オ〕

下ヨイチモイレ住居

惣乙名

イコンノミ

上ヨイチ川辺住居

脇乙名

カシタ井

同断

小使

シイホロ

同断

同

モト

下ヨイチ領テダリヒラ住居

惣乙名

サケシユシ

上ヨイチ領川辺ニ住居

脇乙名

イナヲリ〔30ウ〕

下ヨイチ領モイレ住居

ヲツカエホ

右之通相違無御座候、以上、

午二月

支配人

勘五郎

イシカリ

御詰所〔31オ〕

○半丁白紙〔31ウ〕

ヨイチ場所願書写〔32オ〕

○半丁白紙〔32ウ〕

乍恐以書附奉願上候候
〔ママ〕

唐津内町
幸吉

右者去年迄御場所通詞御免判頂戴罷下り申候故、当春茂不相替通詞御免判願上候処、早速御判被下置候付、奉拝見候処、番人御免判ニ御座候付、再応〔33オ〕問屋を以御書翰奉願上度存念ニ御座候共、問屋之手代迄右之次第申入候処、左様仕候而者番船出帆間欠ケニ相成可申候間、其俣御免判持參、通詞役為勤候而も、何之聊之儀無之候与被申候付、御判書替之願出も不申上相下り、通詞役為相勤罷在候〔33ウ〕処、相違無御座候、此段乍恐以書附御届奉申上候、以上、
午二月

ヨイチ御場所

支配人

勘五郎

イシカリ

御詰所〔34オ〕

○半丁白紙・裏表紙〔34ウ〕

〔B2〕ヲシヨロ場所引渡一件

○表紙〔1オ〕

〔外題〕
〔ヲシヨロ場所引渡一件〕

○半丁白紙〔1ウ〕

ヲシヨロ御場所年中取扱向書上〔2オ〕

○半丁白紙〔2ウ〕

非常御備向心得方書上

一、烽火台 壱ヶ所 式間四方
高サ壱丈

但年来相立候ニ付、追々朽腐仕、高サ相減候ニ付、年々少々宛積木手入仕置候、

一、御用地御初年被仰渡候品船早走急御注進之儀、御場所所有合之持府船ニ而手配仕、冲荒等之節者、山道早走番人を以〔3オ〕御注進之儀、少も油断

不仕候、

右之通相違無御座候、以上、

午二月

ヲシヨロ御場所

支配人

勘六

イシカリ

御詰所〔3ウ〕

鰥寡孤独者并病夷手当救方仕来書上

一、鰥寡孤独者救方之儀、少しも用立候者者、運上家江引取、夫々輕き仕事申付、日々介抱仕罷在候、亦其内極老人杯ハ、心安く夷人共江預置、日々介抱之儀者、運上家ハ差遣し、衣類等も切レ損し候節ハ、(4オ)古着、裂織、厚子之類を相与へ、凌セ申候、是迄右様極難之もの多分無御座候、

一、病蝦夷人有之節者、イシカリ表江願出、御医師様御見廻り相願候、亦者輕き病之者者、兼而奉願頂戴仕置候用意御藥為相用、御見廻り之上申上候儀も有之候、介抱方之儀者、(4ウ)輕重ニ応じ、米飯、干鰯等相与へ、介抱仕置申候、煎藥之義者、病夷多人數ニ御座候節者、運上家ニ而三四日程も相煎し教へ遣シ、其余者看病人方ニ而煎し相用させ、支配人、通詞、番人時々見廻り、不養生不致様嚴重申付候、又者疱瘡之類流行(5オ)病之もの者、兼而被 仰付有之候通、番人差添、山奥江立退セ、介抱等者日々運上家方手当仕、外夷人其場所江參り不申様相心得罷在候、

一、老人、幼もの共江手当介抱之義、矢張鰥寡孤独之もの同様ニ取扱来申候、
(5ウ)

右之通相違無御座候、以上、

午二月

ヲシヨロ御場所

支配人

勘六

イシカリ

御詰所(6オ)

○半丁白紙(6ウ)

覚

一、当御場所御役塩鯨鱈四拾樽、御私領仕来を以、松前御役所江年々奉納候、

一、蝦夷人共ハ番人共江申返、^(通)或者手違等致し候節、償取置候儀、御私領仕来ニ御座候、(7オ)尤程給候得者、相違シ申候、

一、御場所境

西者 フンコベ、ヨイチ境ニ御座候、
東者 海岸通りボクシヤタエン、タカシマ境ニ御座候、

右之通相違無御座候、以上、(7ウ)

ヲシヨロ御場所

支配人

勘六印

午二月

御詰所(8オ)

○半丁白紙(8ウ)

漁業手配仕来

一、運上家前春漁手配無御座候、尤鯿群来候節者、番家并夷人共、漁船ニ而差網仕候、夷人式人ニ付鯿網を放宛貸附、漁事為致候、

一、同所東之方字チコタン出張番家壹軒、(9オ)春漁之節、番人三人、囃合船壹艘、ほつち船三艘、網數百貳拾放、釣物鱈、鰯漁事仕候、夏漁煎海單、鮑、夷人共日々取高改として、番人式人罷在申候、秋味之節、夷人楯網壹^(統)流相建申候、

一、右同断字モ、ナエ出張番家壹軒、(9ウ)春漁之節、番人式人、囃合船壹艘、ほつち船貳艘、網數百放、釣物夏漁前同断、

一、右同断字シヲヤ出張番家壹軒、春漁之節、番人三人、囃合船壹艘、ほつち

船三艘、網數百放、釣物夏漁、秋味前同断、右三ヶ所漁場ニ而、浜中一円
手船仕候、(10オ)尤二八取之者入込罷在申候、

一、秋味漁之節、当領シヲヤエ、ヨイチ蝦夷人楯網壹統、船とも差越し、漁事
仕候、

一、当御場所蝦夷人ヨイチ川江罷越、漁事仕候儀、仕来ニ御座候、

右之通年々漁業手配仕来罷在(10ウ)申候、此外御用地以來切開き候漁場無
御座候、以上、

午二月

ヲシヨロ御場所

支配人

勘六

イシカリ

御詰所(11オ)

○半丁白紙(11ウ)

蝦夷人ノ産物買入直段并運上家雇夷人給代手当仕来

一、春鮭 八束ニ付 代造米壹俵

一、鱈 五束ニ付 前同断

一、煎海胆 三百本ニ付 前同断

一、鮑 四百ニ付 前同断(12オ)

一、鱈鮮油 夷碗壹杯ニ付 酒貳合

一、春鮭漁中、雇夷人之義者、平均壹人ニ付造米三俵、糶壹俵、古手壹枚、木
綿半反、裂織壹枚、下帯一筋、きせる壹本、間切式枚、たばこ式把宛勘定
致し遣申候、女子、セカチ、其外者、右品ニ応じ、夫々勘定差遣申候、
右之通相違無御座候、以上、(12ウ)

ヲムシヤ之節役蝦夷人其外江差遣候品并蝦夷人役義申渡候節差遣候
品共書上

一、五升入小樽壹 宛 役蝦夷人壹人江
たばこ式把

但右役蝦夷人共へ、一同呼出し、定例申渡候御法度之趣為申

聞、夫ノ蝦夷盃ニ而上酒式極宛御詰合様ヲ被 仰置候積リニ
而、支配人ノ差遣し、南部碗ニ而飯壹盃ツ、膳部ニ付候品を
相添為給申候、其外五升入小樽壹ツ、平夷人貳人ニ付同壹ツ、

自分勘定之内を以貸付為給申候、此外夏秋ヲムシヤ有之、壹ヶ

年三度之ヲムシヤニ御座候得共、右躰春同断、

一、女ノ子、ヘカチ迫、平均壹人ニ付貳合五勺ツ、為飲、飯も差遣申候、

(13オ)

一、蝦夷人共江役儀申渡之節者、小樽壹ツ差遣申候、

右之通相違無御座候、以上、

午二月

ヲシヨロ御場所

支配人

勘六

イシカリ

御詰所(13ウ)

巳年出荷物高并困物書上

一、筒鮭 壹万貳千五百束

一、外割鮭 八千束

一、身欠 八百六拾本

一、白子 百貳十本

一、鯨鱈 三百本(14オ)

一、さゝめ 三百本

一、干鱈 貳百五十束

一、かすへ 貳十七束

一、煎海茸 九本

一、白干鮑 四本

内囲荷物

一、外割鮓 貳千束〔14㉔〕

一、さゝめ 三百本

買入

一、同 百本

右之通相違無御座候、以上、

午二月

ヲシヨロ御場所

支配人

勘六

イシカリ

御詰所〔15㉔〕

○半丁白紙〔15㉔〕

ヲシヨロ御場所蝦夷人家数人別書上

一、家数 七拾壹軒

人別 貳百九十式人

内 男 百四拾九人

女 百四十三人

ヲシヨロ住居

惣乙名

エコリキン〔16㉔〕

同所住居

脇乙名

ハウエアニ

同所同

小使

ランヘカ

チコタン同

同

ホニクン子

ヲシヨロ並乙名

エハカント

同所同

ハンナ

同所同

アラクバ〔16㉔〕

同所同

シツテキ

ラムシマナイ同

ウサツ

チコタン同

トヲク子

同所同

サンコク

同所同

ヲシケヲク

同所同

チフノミ〔17オ〕
モ、ナイ同

エトヒリカ
シヲヤ同

ヤエセ
同所同

エバクシテ
同所同

ノキサカヨ
同所同

ウエナクロ〔17ウ〕

右之通相違無御座候、以上、

午二月

ヲシヨロ御場所

運上家

イシカリ

御詰所〔18オ〕

○半丁白紙・裏表紙〔18ウ〕

〔B3〕上下ヨイチ御場所漁業手配并蝦夷人共取扱方日記

○表紙〔1オ〕

〔外題〕
文政五午年

上下ヨイチ御場所
漁業手配并蝦夷人共 取扱方日記

○半丁白紙〔1ウ〕

ヨイチ御場所漁業手配并蝦夷人共取扱方

- 一、ヲムシヤ之節申渡之趣ハ、別紙ニ差上申候惣乙名、脇乙名、並乙名、小使共江者、平均壱人ニ付、三ツ組盆ニ而三盃宛、〔2オ〕御上様より被下候積ニ而、支配人より差遣被給候、夫より小樽四升入壱ツ、煙草式抱宛差遣〔把〕候而、右土産慎頂戴致候而ハ、又三ツ組ニ而三盃宛被給候、平夷人共江者、三ツ目碗ニ而三盃宛被〔2ウ〕給候、女ノ子、ヘカチ共江者、南部碗ニ而三盃宛差遣候、其外乙名、平夷人とも江者、五人ニ付式斗入壱樽宛、自分漁勘定之内を以借遣申候、右御私領仕来に御座候、壱ケ年ニ三度之ヲムシヤニ御座候〔3オ〕得共、春ハ番船無事着祝儀与して御座候、秋ヲムシヤ秋味漁之節、雇之者斗ニ而、漁業ニ取懸候前ニ、忝度御座候、都合三度之ヲムシヤニ申唱候得共、其内夏ヲムシヤ之儀重御座候、〔3ウ〕
- 一、蝦夷人共役義申渡、役替之節差遣候品之儀ハ、其時宜ニ応し、造米三俵、又者式俵、或ハ小樽壱ツ差遣候義茂御座候、御私領仕来取扱申候、
- 一、運上家春漁之節、囃合船式艘、〔4オ〕持符舟壱艘、鯡網、漁具添、猶又秋味網、起し網、釣物并兎蛸産物、何れも少々宛之漁事ニ御座候、

一、秋味漁之儀ハ、其年之出高二応し、右高之内四歩ハ運上家、六歩ハ夷人〔4ウ〕共荷物ニ相成候得共、右漁事中彼等入用之品調候ニ付、右漁之高ト入用之品々、代料を差引仕、其外残り高を以、鮭四束ニ付造米壹俵宛ニ買上ニ而、勘定致遣候仕来ニ御座候、春鮭漁中〔5オ〕雇夷人之儀者、其丈夫不丈夫ニ応し、造米八俵より七俵位迄、格別相省候ものへハ、同断五俵位之勘定差引遣来候、右何れも御私領仕来ニ御座候、夷人木挽并飯焚ヘカチ等無御座候、〔5ウ〕

一、蝦夷人漁勘定之儀者、銘々自分商売仕候ニ付、春漁鮭八束ニ付、造米壹俵、干鱈五束、干鰯八束、鯡四束、いづれも同断壹俵宛ニ買入仕候、夏漁煎海単、数三百五拾、同断壹俵、干鰯五百ニ付〔6オ〕同断壹俵宛ニ買入仕候、

一、当御場所御役塩敷子、何拾樽、これハ御私領之節より仕来ニ而、今以松前御役所江年々相納申候、

一、鮭二八取之者、春鮭漁より引続〔6ウ〕夏漁相稼候儀、当御場所ハ古来より無御座候、猶海単引、鰯突之儀ハ、別段御判持参、入込候儀茂無御座候、一、鮭二八取之者、御免判頂戴仕、於御場所、中遣船、凶合船、磯舟等、合船〔7オ〕仕候義、御私領之節より仕来ニ候、

一、二八取之者、御判茂無之、外あまり木材を以合船等致候義ハ、御私領之節ト堅無御座候、右之訳者、山林伐荒され、運上家難義之儀ニ付、敵敷致候〔7ウ〕儀ニ御座候、

一、大工、木挽、当所江相越、相稼候義、御私領より仕来ニ御座候、

一、病夷、軽重ニ応し、御医者様御見廻り先江願出、或ハ当所へ御着被成候〔8オ〕迄差扣罷在、相願候義茂有之候、病中介抱之儀茂、其軽重ニ随ひ、米相与へ申候、煎菓之儀者、其介抱人江両三度も煎方相教へ、余ハ夷人共方ニ而煎し、相用ひ申候、日々番人共之内、両三度も〔8ウ〕為見廻申候、是迄右之手続にて取扱来候、

一、鰥寡孤独の者江ハ、米、或干物、其時宜ニ応し相与へ、衣類等もあまり損

し候へハ、厚子、先織之類を夫々ニ遣し置申候、〔9オ〕其内ニも、其所之乙名、小使方ニ而、夫々世話致居候ものも有之候、尚運上家江相越候節ハ、飯、濁酒等も相与へ候義も御座候、是迄取扱手続、右之通ニ御座候、一、老人并幼もの共へ手当介抱之〔9ウ〕儀者、矢張鰥寡孤独之者同様ニ取扱来り候、

一、当御場所惣夷人共所持之漁舟数、
一、蝦夷人共、運上家より借財、別紙ニ〔10オ〕差上申候、

一、当所困荷物有高之儀ハ、別紙ニ書上仕候、

一、夷人共ト番人江申過、或者手違致し候節、償を取置候義、御私領より〔10ウ〕仕来ニ御座候、外仕置方之儀無御座候間、ケ様ニ致候儀ニ御座候、

右者、此度御場所年中漁業手配向并蝦夷人共取扱方之儀、前書〔11オ〕之通ニ御座候、

ヨイチ御場所

文政五年年

運上家〔11ウ〕

○半丁白紙〔12オ〕

○半丁白紙・裏表紙〔12ウ〕

「B4」〔ヨイチ場所仕込品直段等書上帳綴〕

(一) 諸品代附帳

○表紙〔1オ〕

〔外題〕

「文政七年

申十二月

諸品代附帳

○半丁白紙〔1ウ〕

- 一、五拾六文 米壹升
- 一、八拾五文 白米壹升
- 一、五拾六文 鱈壹速〔速〕
- 一、五拾六文 昆布壹丸
- 一、貳百文 但五貫五百匁目
- 一、貳百貳拾四文 清酒壹升
- 一、百文 大坂同壹升〔2オ〕
- 一、五拾六文 糍壹升
- 一、貳拾文 濁酒壹升
- 一、百六拾貳文 生鯨壹貫匁目
- 一、壹貫貳百文 アザラシ皮一枚
- 一、九百文 楊布壹反〔襦〕
- 一、九拾文 白木綿壹反
- 一、九拾文 きせる壹本〔2ウ〕

- 一、百文 大間切壹枚
- 但シ
- 一、五拾六文 中同壹枚
- 一、三拾文 下同壹枚
- 一、三百五拾文 田代壹枚
- 一、六百元 鐮壹丁
- 一、五拾六文 夷わん壹ツ
- 一、四百四拾八文 かもく壹組〔3オ〕
- 一、壹貫貳百文 小酒桶壹ツ
- 一、壹貫五百五拾文 大同壹ツ
- 一、七拾五文 外割壹速〔速〕
- 一、九拾文 地廻り壹わ
- 一、貳拾五文 半し壹状
- 一、六拾五文 切粉壹玉
- 一、五拾六文 鯖先壹枚〔3ウ〕
- 一、百八拾文 庖丁壹枚
- 一、百五拾文 大箆壹枚
- 一、六百七拾貳文 小碇先織壹枚
- 一、壹貫三百四十四文 越中同壹枚
- 一、壹貫七百五十文 能代壹枚
- 一、貳百廿四文 柄提壹ツ
- 一、三拾貳文 干白子壹貫匁目〔4オ〕
- 一、貳拾貳文 干数子壹貫匁目
- 一、拾貳文 笹目壹貫匁目
- 一、百文 椎茸百粒
- 一、五拾六文 魚油壹升
- 一、四百四拾八文 鱒拾速〔速〕

- 一、四百四拾八文 〆粕式拾式貫匁目ニ付壹本
- 一、八拾五文 泳代はり壹本
- 一、百十式文 明たる壹ツ〔4ウ〕

○付箋貼付

- 一、百拾式文 明式斗樽壹ツ
- 一、〔5オ〕

○半丁白紙〔5ウ〕

木挽蝦夷人挽口

- 一、三拾五文 式間ノ壹尺

- 一、百五拾文

磯舟咸具^{〔器〕} 壹口

- 一、式百四拾文

図合舟同

壹口

右之通りニ候、〔6オ〕

○半丁白紙〔6ウ〕

御軽物直段附

- 一、五百三拾六文 上真羽壹尻代
- 一、四百三拾六文 中真羽壹尻代
- 一、三百三拾六文 下真羽壹尻代
- 右之通りニ候、 但シ大鳥ニ御座候、〔7オ〕
- 一、式百式拾四文 上粕尾壹尻

- 一、百七拾式文 中同壹尻
- 一、百式拾文 下同壹尻
- 一、五拾六文 ホイヌ皮壹枚
- 上中下見立買入

- 一、百拾式文 上狐皮壹枚〔7ウ〕

- 一、九拾六文 中同壹枚

- 一、八拾四文 下同壹枚

- 一、式百式拾四文 上川獺皮一枚

- 一、百九拾六文 中同壹枚

- 一、百六拾式文 下同壹枚

- 一、式百式拾四文 鷲ノ母衣

百本代〔8オ〕

- 一、式百式拾文 上熊膽壹匁代

- 一、百五拾文 中同壹匁目代

- 一、八拾文 下同壹匁目代

右熊ノ膽之儀者、極上々ニても拾匁内ハ中ノ直段ニて相払可申事、尤其節ニ及候ハ、御詰合様江御窺可申上事、

〔8ウ〕

- 一、四百四拾八文 熊之皮壹枚

- 一、飼熊之膽壹ツ、 多葉粉壹わ宛相払可申事、〔9オ〕
- 上中下ニ不抱、尤其時ニ応し手当致候様心得可申事、

蝦夷細工もの直段

- 一、百拾式文 極上筆立壹ツ
- 但シ 八拾文 中壹ツ
- 七拾文 下壹ツ
- 一、拾文 極上糸巻壹ツ

但シ 五文中壺ツ

三文下壺ツ〔9ウ〕

一、五拾六文 極上間切鞘壺ツ

但シ 三拾五文中壺枚

式拾八文下壺枚

一、八拾文 上々半月盆壺枚

但 六拾五文中壺枚

五拾六文下壺枚

一、拾文 上々酌子壺本

但 八文 中ノ直段

六文 下ノ直段〔10オ〕

一、九拾文 極上々茶台壺ツ

上中下見斗ひ相払可申事、

一、式百文 極上々硯蓋壺枚

右同断

一、九拾五文 極上々茶つぼ壺ツ

右同断

一、七文 極上々シヤジ壺本

右同断〔10ウ〕

右夷細工之儀者、凡其品寄り見斗ひ、代払可申事、勘定之節、

申十二月〔11オ〕

○半丁白紙・裏表紙〔11ウ〕

(一) 定例直段附調子

○表紙〔11オ〕

〔外題〕
西六月

定例直段附調子

○半丁白紙〔11ウ〕

覚

一、いしかり表元日御礼、樽肴持參、御礼へ罷出候事、暑寒之届も右同断、

一、元日役蝦夷人江五升入清酒壺たる、にこり酒式計入壺樽、但し惣夷人江

切餅七枚つゝ、尤於運上家ニ〔2オ〕

一、御役人様御通行之節、御取扱方無究り、御見斗ニ而、尤賃錢之儀ハ、壺里

拾文宛、

よいちち古平運上家迄 四里

同所方ヲシヨロ迄 壺里半

同所方岩内運上家迄 拾三里

山道

御領之節ハ、壺里廿文宛ニ御座候得共、只今ニ而ハ通行無之故、究りな

し、〔2ウ〕

一、夏ヲムシヤ 元七月十五日なれとも、此方勝手次第

一、秋ヲムシヤ 是迄秋味漁中、

但しヲムシヤの節、介抱方乙名、小使、土産取のもの江も、蝦夷台盃ニ而
清酒式盃ツ、御上様を被下置候積ニ而、支配人ち差遣為給、其後白米飯南
部碗ニて〔3オ〕壺盃ツ、膳へ居為給候、細物ハ一切なし、為土産与惣乙名
ち土産取迄へ、煙草式把宛さし遣候、平蝦夷人共江ハ、吸物碗位盃ニ而式
盃為給、其後南部碗ニ而黒米飯壺盃宛、夫ち女の子、セカチ江三ツ目
きせニ而、清酒式盃宛為給候、黒米飯壺盃ツ、其外蝦夷人江清酒四拾

〔3ウ〕
 たる樽貸付、漁勘定之節引取可申事、
 秋ヲムシヤ之節ハ、ヲシヨロ役夷人共、平夷人共罷越ニ付、よいち蝦夷同
 様ニ取扱、ヲムシヤ式いたし、其上ニ而漁事ニ取掛り申候、
 一、御役人様御賄料居付一日五拾五文、御通行ハ七拾五文ニ相究り居候、但し
 御手向ハ銘々心得次第、〔4オ〕
 一、蝦夷病氣之節ハ、運上家へ引取、御役人様へ願上、御薬頂戴仕、蝦夷江薬
 用被致居候、
 一、番船下着之節ハ、いしかり江銘々の御判持參御届ニ可罷出候、登り之節前
 同断、
 一、御軽物買入代ハ、御場所ニおゐて、代料相払可申候、右代附帳面御詰合様
 へ差出し、松前ニおゐて請負人江御渡し相成候事、〔4ウ〕
 番屋
 網おろし之節ハ、雇夷人共江五升樽ニ而にこり酒沓ツ差遣し可申事、
 〔5オ〕
 諸品代付
 一、六拾式文 玄米沓升
 一、米沓升 鱒沓速〔速〕
 酒ニ而清酒式合五勺ニ
 にこり酒ニ而ハ五合
 一、地廻り沓わの代り 木綿五尺ニ付
 一、同 きせる沓本〔5ウ〕
 一、米式升ニ而 煙草沓把
 一、間切沓枚ニ而 米五合の代り
 一、太代沓枚 八升俵沓俵
 一、鑄沓丁 右同断
 一、夷梳 米五合の代り沓ツ

一、鴨々
 大夷俵沓俵
 中煙草三〇
 小 式わ〔6オ〕
 其下沓わ
 大酒桶
 但黒赤取合ニ而
 造り米四俵位
 小同 三俵半
 外割沓束ニ付 米沓升
 酒ニ而前同断
 地廻沓わニ付 外割式束〔6ウ〕
 鯖刺 米五合
 間切 同断
 笹沓枚 外割沓束
 碓先織 大式俵半
 小式俵
 柄提 夷俵沓俵
 干白子 煙草ニ而ハ
 沓たるニ付 沓わ
 干数子 米ニ而ハ式升〔7オ〕
 〔目欠カ〕
 笹廿一〆匁目 煙草沓わ
 十七八〆匁匁 にこりニ而八盃
 廿一〆匁迄
 魚油沓盃ニ付 代清酒沓盃
 明樽 米五升
 にこり酒五合
 ホイヌ皮 米沓升

狐皮	米式升	ヲシヨロ境フンコへ崎迄
	煙草壺わ(7ウ)	道法前之通
中同	見計	山道岩内境ルウチシ迄
獺皮	米式升五合ち式升迄	道法五里廿九丁六間
熊胆	穴 五俵位	年中出荷物いしかり江書上之事、(10オ)
熊皮添	中 四俵位	海參金 米式はい
	下 三俵半位	鯡針 米式盃
飼熊胆皮添	夷俵壺俵	火打 同断
外割八束二付	造り米壺俵(8オ)	壺尺やす 造り米壺俵
鱈八速二付	右同断	鯡網壺放 貸付三わ
干鯡四速二付	造り米壺俵	干魚壺束 壺俵二付七束
ほつけ十速二付	右同断	生同 七速ト十四本
海參三百二付	壺俵	同断(10ウ)
鮑五百二付	壺俵(8ウ)	皮針壺本二付 干魚三本
秋味鯉四速二付	壺俵	小針壺本かな壺くり代
同跡買 五速二付 壺俵		古手中 六俵(11オ)
春雇之給代 上漁二而造り米六俵		耳金壺 生魚五本
中漁二而五俵半		夷碗 あたつ七本(11オ)
御役御用塩数字式斗入二而三十たる		小柄杓 干魚十本
例年仕来(9オ)		火打壺 魚十本
		あたつ十五本
		鮑四十
○9オに紙片「膳」あり		
大工木挽働ニ参候者古来仕来ニ御座候、		イチボ酒 夏 イコンノミ壺 ○ ハコク壺 ○
当場所シリハ崎御合凶烽火之儀、巾三間、横三間、高壺丈、年々手入可致		モト壺 ○ カツコロ壺 ○
事、		イトムコツ壺 ○ イヌンケ半 ○
古平境 チヤラシナイ滝迄(9ウ)		サケシユス壺 ○ シコモコロ半 ○

アマムクタ半 ○ アンラム半 ○
 レイクル半 ○ ハマナス壺 ○
 ハウエヤス壺 ○ テヒラシヤン壺 ○
 コタンコシ壺 ○ マナス壺 ○
 シイホロ半 ○ ヲツカイホ半 ○
 アチウフニ壺 ○ シケクル半 ○
 イヘカヲツ半 ○ シチャリ壺 ○
 ラムリ壺 ○

ㄨ (12オ)

イチホ酒秋

イコンノミ壺 ○ モト壺 ○
 カツコロ半 ○ ハヲフニ半 ○
 シイホロ半 ○ アチャフニ半 ○
 テヒラシヤニ壺 ○ イタンケ半 ○
 シ子シト壺 ○ ラムリ壺 ○
 アンラク壺 ○ シコモコロ半 ○
 サケシユス壺 ○ ハウヤス半 ○
 ヲツカイボ半 ○

ㄨ (12ウ)

右之通あらまし如斯御座候、已上、

西六月

柏屋勘五郎

竹屋様 (13オ)

○半丁白紙・裏表紙 (13ウ)

(三) ヨイチ御場所残り物引請帳又十印右請取諸品書

○表紙 (1オ)

〔外題〕

「ヨイチ御場所残り物引請帳
 又十印右請取諸品書」

○半丁白紙 (1ウ)

覚

不残新規

- 一、越後酒並七樽
- 一、同大山酒本二拾壺樽
- 一、餅白米式俵
 - 此升三斗三升入 (2オ)
- 一、新庄米壺俵
 - 此升三斗四升式合入
 - 外壺俵
- 一、越後米式拾俵
 - 此升三斗八升七合五勺入
- 一、庄内米三俵
 - 此升四斗五升六合入 (2ウ)
- 一、津軽白米四俵ト式斗
 - 此升三斗四升七合入
- 一、越後白米三俵
 - 此升三斗三升入
- 一、糶八呌ト式斗
 - 此升四斗九升入
 - 四斗四升三合入 (3オ)

- 一、手網苧取合拾八箇
 - 一、正二め形百八拾壹貫八百匁目
 - 一、醤油式斗入式樽
 - 一、みそ 式樽
 - 正二め形式拾五貫式百匁目（3ウ）
 - 一、ホロキ煙草壹箇ト式百四拾八玉
 - 但し式百五拾わ入
 - 一、附木百四拾五把
 - 一、蝦夷碗式百四拾壹
 - 一、同痛碗式つ（4オ）
 - 一、大豆三斗式升
 - 一、三半釘取合拾壹貫百五拾匁目
 - 一、新五升明樽拾七
 - 一、かすり三ツ組八つ（4ウ）
 - 一、同二ツ組九つ
 - 一、同大斗り三つ
 - 一、大坂柄杓四拾三
 - 一、坂田二ツ組同六つ（5オ）
 - 一、本庄鍋取合三枚 但し三升鍋式枚
五升同壹枚
 - 一、小赤鍋壹枚
 - 一、拾匁掛蠟燭八百式拾匁目
 - 一、田代四拾四枚（5ウ）
 - 一、山刀七拾五枚
 - 一、鎌拾枚
 - 一、小間切四百九拾壹枚
 - 一、六寸やす九から（6オ）
 - 一、小火打六拾三枚
-
- 一、鯖差間切百四拾枚
 - 一、海引金三拾四下ケ
 - 一、かすへ針六拾式下ケ（6ウ）
 - 一、政所茶五百五拾匁目
 - 一、並茶五百八拾匁目
 - 一、白油壹升入壹樽
 - 一、吸手壹枚（7オ）
 - 一、摺鉢壹枚
 - 一、火入壹ツ
 - 一、かわらけ壹組 但下夕皿壹枚附
 - 一、焼心拾匁目（7ウ）
 - 一、汁しやくし拾本
 - 一、中皿鉢 四枚
 - 一、長皿 式枚
 - 一、角小皿 拾枚（8オ）
 - 一、菊形小皿 拾枚
 - 一、柄提 八つ
 - 一、同痛 四つ
 - 一、小柄提 壹ツ（8ウ）
 - 一、丸筥式枚
 - 但し拾六間
 - 一、箕筥四枚
 - 但拾三間
 - 一、みそ越同七枚
 - 一、米通し壹ツ（9オ）
 - 一、皆朱吸物碗拾人前
 - 但しふたもよふ付

- 一、半紙八速^{〔東〕}
- 一、黒膳碗拾人前
但し坪平附
- 一、めかこ式ツ^{〔9ウ〕}
- 一、痛夷台盃式つ
但し黒赤
- 一、巴もよふから草附台盃五組
- 一、松竹梅附同三組
- 一、鉄仙附同三組^{〔10オ〕}
- 一、菊水附同四組
- 一、ふともよふ附同四組
- 一、ほつかゑ式ツ
但し丸ニかたはミ紋付
- 一、同花菱紋付式ツ^{〔10ウ〕}
- 一、同角花菱紋附式ツ
- 一、同桐紋付式ツ
- 一、小田原同壺ツ
- 一、小桐もよふ附丸鉢式ツ^{〔11オ〕}
- 一、桴木繩式百尋拾丸
- 一、井車壺かけ
- 一、草鞋百五足入三箇ト七拾足^{〔美〕}
- 一、美子繩小玉拾四把^{〔11ウ〕}
- 一、同単食式拾三把
- 一、中間繩七拾九丸
- 一、次同七拾式丸
- 一、同百五拾式丸^{〔12オ〕}
- 一、同単食拾壺丸

- 一、酒田繩三百三丸 但立繩付
 - 一、若狭筵拾八速^{〔東〕}
 - 一、竹原塩拾五俵^{〔12ウ〕}
 - 一、かすり大小式つ
 - 一、古手取合五枚 但中供分四枚、大供壺枚
 - 一、白先織七枚 但いら附
 - 一、いよ砥壺丁^{〔13オ〕}
 - 一、桧皮百匁目
- 右之通場所表ニおるて引請仕候処、相違無御座候、直段之儀ハ、松前表於て御取究可被下候、^{〔13ウ〕}
- 西六月
- 柏屋勘五郎殿
同 市兵衛殿^{〔14オ〕}
- 半丁白紙・裏表紙^{〔14ウ〕}
- 〔外題〕
〔西年六月〕
ヨ市御場所古道具直段附
又十印を請取諸品代附書
- 半丁白紙^{〔1ウ〕}

覚

- 一、上配繩三拾壹枚 直段壹枚ニ付三百文ツ、
此代九貫三百文
 - 一、中同貳拾枚 直段壹枚ニ付貳百七拾文ツ、
此代五貫四百文
 - 一、下同拾枚 直段壹枚ニ付貳百文ツ、
此代貳貫文〔2オ〕
 - 一、古やめ附釘三千貳百九拾本 直段壹文四分
此代四貫六百六文
 - 一、同鶴のはし貳丁 直段壹挺ニ付三百文
此代六百文
 - 一、同鎌貳拾八枚 直段壹枚ニ付三十文
此代八百四拾文〔2ウ〕
 - 一、古焼きり拾壹本 直段壹本ニ付五拾文ツ、
此代五百五拾文
 - 一、同鎗三本 直段壹本ニ付三百文
此代九百文
 - 一、同七りん貳つ
此代百六拾文〔3オ〕
 - 一、古酒桶四つ 直段一つニ付貳百文ツ、
但しふたなし
此代八百文
 - 一、同皆朱膳拾人前 直段壹枚ニ付三百文
此代三貫文
 - 一、同二之膳壹人前
此代貳百五拾文〔3ウ〕
 - 一、同黒惣輪四枚 直段壹枚ニ付貳百文
-
- 此代八百文
 - 一、同小硯ふた貳枚 直段壹枚ニ付百五十文
此代三百文
 - 一、同菓子台壹枚
此代貳百文
 - 一、同皆朱小湯当壹つ
此代百五拾文〔4オ〕
 - 一、同黒椀平坪附三人前 直段壹人前貳百五拾文
此代七百五拾文
 - 一、同黒坪斗四つ 直段壹つニ付五拾文
此代貳百文
 - 一、同小前鉈貳枚
此代百文
 - 一、同梨子地夷盃貳組
此代三貫文〔4ウ〕
 - 一、古布幕壹張 但し長サ五尋五百合
此代貳貫文
 - 一、同木綿同壹張 但し長サ五尋三百合
此代壹貫貳百文
 - 一、同飛口式挺
此代貳百文
 - 一、同鱈鍵式挺
此代百文〔5オ〕
 - 一、古鍋取合拾三枚 直段壹升ニ付百五拾文ツ、
内訳
五升焚貳枚
此代壹貫五百文

- 三升同五枚
此代貳貫貳百五拾文
- 壺升同六枚
此代九百文
- 一、古痛鍋拾枚 直段ならし百文ツ、
此代壹貫文
- 一、同痛薬缶壺つ
此代二百文
- 一、同碇取合四挺 直段目かへ
此目形式拾五貫九百匁目
内三わり引
正二拾八貫百三拾匁目
此代拾八貫百三拾文〔6オ〕
- 一、同痛碇五挺 但シ直段四貫三百廿文ニ付め形拾貫匁目かへ、
惣目形式拾四貫匁目
但不用ニ立
此代拾貫三百六拾八文
- 一、同釜火箸壺挺
此代百文
- 一、同卷綱壺房
此代五百文〔6ウ〕
- 一、かき機拾六枚 直段壺枚ニ付百五十文
此代貳貫四百文
- 一、古あふちけ式百四拾枚 直段壺枚ニ付廿五文
此代六貫文
- 一、同すたれ取合千枚 直段壺枚ニ付八文かへ
- 此代八貫文
- 一、同むすろ拾壺速〔東〕
直段壺速ニ付三百文
此代三貫三百文〔7オ〕
- 一、数字はかり樽壺つ
此代貳百文
- 一、古鱒網拾放 直段壺放ニ付壺貫貳百文
此代拾貳貫文
- 一、同拾五枚 直段壺放ニ付八百文
此代拾貳貫文
- 一、同五拾三放 直段壺放ニ付三百文
此代拾五貫九百文〔7ウ〕
- 一、椀拾丸 直段壺丸ニ付八拾文
此代八百文
- 一、餅せいろふ壺組
此代四百文
- 一、古鯖差式拾壺枚 直段壺枚ニ付廿文
此代四百式拾文
- 一、同小焼印三本
此代九拾文〔8オ〕
- 一、古庖丁六枚 直段壺枚ニ付五拾文
此代三百文
- 一、同小挽鋸壺枚
此代三百文
- 一、同六貫目秤壺挺
此代壺貫五百文
- 一、同三貫目同壺挺
此代壺貫貳百文〔8ウ〕

- 一、古皆朱重鉢壺つ
但し台杓子とも附
此代八百文
- 一、同盃台廿壺組
此代四百文
- 一、同小皿 七枚 直段壺枚ニ付三拾文
此代式百拾文
- 一、同黒膳椀坪平皿壺人前
此代壺貫文〔9オ〕
- 一、古并鉢四ツ 直段壺つニ付百文
此代四百文
- 一、古尺皿鉢壺枚
此代式百五拾文
- 一、同白德利式つ
此代式百八拾文
- 一、同備前焼同式つ
此代百六拾文〔9ウ〕
- 一、古銚子壺つ
此代三百文
- 一、同金盃壺つ
此代壺貫七百文
- 一、同皆朱吸物膳九人前
此代壺貫三百五拾文
- 一、同小赤鍋壺枚
此代百五拾文〔10オ〕
- 一、古水納壺ツ
此代五拾文
- 一、古並皿四枚 直段壺枚ニ付三拾文ツ、
此代百式拾文
- 一、同皆朱丸盆壺枚
此代式百文
- 一、同おしき拾枚 直段壺枚ニ付三拾文ツ、
此代三百文〔10ウ〕
- 一、古摺鉢壺枚
此代百文
- 一、同箱重鉢壺つ
此代百文
- 一、同神酒德利五ツ
此代式百文
- 一、同大こか式本 直段壺本ニ付三貫四百文
但四尺二四尺
此代六貫八百文〔10オ〕
- 一、古小こか壺本
但式尺七寸二式尺七寸
此代壺貫八百文
- 一、同鍔釜壺枚
〔貼紙〕
但し「四斗焚」
此代四貫文
- 一、同鯛釜壺枚
此代金式両
- 一、同小壺枚
此代金壺両式歩〔11ウ〕
- 一、古ちく錠式丁
此代百文

一、同炭取式ツ

此代六拾文

一、同鉄灰次四ツ 直段沓ツニ付八十文

此代三百式拾文

一、同火箸大小三膳

此代九拾文〔12オ〕

○12オに紙片あり

一、明樽四拾七 直段沓たるニ付五十文かへ

此代貳貫三百五拾文

一、古風呂釜沓枚 但シ差渡沓尺八寸五分

此代四貫文

一、同配繩笊四拾枚 直段沓枚ニ付拾五文ツ、

此代六百元

一、同水きつ沓ツ

此代五百文〔12ウ〕

一、古三半船五艘 直段沓艘ニ付金沓両三分

此代金八両三步

一、同持符五艘 直段沓艘ニ付金三步ツ、

此代金三両三步

一、同丸行焼三ツ

此代〔貼紙〕「沓貫五百文」

一、同角同沓ツ

此代百文〔13オ〕

一、古 ろふせん沓枚

かまと鍵式丁

火かき沓丁

此代四百年

一、薪八拾七敷 直段沓敷ニ付貳百八拾文

此代貳拾四貫三百六拾文

一、早切三千百四拾五本 直段沓本ニ付拾五文ツ、

此代四拾七貫百七拾五文〔13ウ〕

一、けた三百五拾七本 直段沓本ニ付廿文

此代七貫百四拾文

一、船板九枚 但シ七尋半

此代四貫五百文

一、家材木械具共三拾八本 直段貳百文

此代七貫六百元〔14オ〕

一、せいろふ板五拾五枚 直段廿文

此代沓貫百文

一、古樞鮭網棚四本 直段貳百文

此代八百元

一、すけ七丸 直段百五拾文

此代沓貫五拾文

一、古薄縁拾枚

此代沓貫四百年〔14ウ〕

一、古吸手式枚

此代沓貫貳百文

一、すたれ百式拾枚 直段沓枚ニ付沓拾五文

此代沓貫八百年

一、古碇式丁 但シ三割引

目形七貫七百匁目

正二五貫三百九拾匁目

此代五貫三百九拾文〔15オ〕

一、はした米九計 直段四匁五分

代五貫六拾貳文

惣 金拾六兩ト貳百七拾六貫三百八拾壹文

暈藏壹ヶ所 三間二六間

代金拾兩也〔15ウ〕

菊藏壹ヶ所 四間二九間

代八貫文

障子 貳拾五間

直段五百文ツ、

代拾貳貫五百文

四尺もの

同 拾五枚

直段百五拾文

代貳貫貳百五拾文〔16オ〕

三尺もの

同 拾四枚

直段百文

代壹貫四百文

暈 三拾壹丁

直段四百文

代拾貳貫四百文〔16ウ〕

×金拾兩ト三拾六貫五百五拾文

右之通場所表ニおゐて引請仕候処、相違無御座候、已上、

西六月

柏屋勘五郎殿

同 市兵衛殿〔17オ〕

○17オに付箋あり

「 覚

一、古鏝錠 六張り

内八寸貳張り

六寸四張り

一、車錠 七張り

内

六寸 三張り

五寸 四張り」

○半丁白紙・裏表紙〔17ウ〕

〔五〕与市御場所帳場諸用取扱方振合書

○表紙〔1オ〕

〔外題〕

「与市御場所帳場諸用取扱方振合書

ヨイチ

運上家」

○半丁白紙(裏書あり)〔1ウ〕

一、藏々諸品、毎月朔日請払いたし、相改可申事、

猶亦米、酒、糶、煙草仕分之義者、是迄振合通、帳面表披見之上、諸品

藏出之節、請払可申事、〔2オ〕

一、諸帳面有高不残披見之上帳入可致事、

一、場所々諸品取引帳之儀者、番入貸帳之尻江帳入致置候間、右ニ御心得可然事、

一、蝦夷貸帳之儀者、家主或ハ中間商売之^(2ウ)蝦夷有之候ニ付、呼出し之義ハ頭たる蝦夷江帳入致置候間、不相替候ハ、自分稼蝦夷人別帳別段有之候間、右帳面操出し、頭たる蝦夷の呼出し相糺シ、帳入可致候、尤使之者手前相印置候間、右ニ御心得可申事、

○紙片「分」あり^(3オ)

一、諸品并蝦夷人より買入之品、直段帳別段相認メ置候間、披見之上売買可申事、猶不相分候品ハ、御支配人江聞合之上、買入可申事、

但キナ或ハ荷物之外見斗ひ買入可然事、^(3ウ)

一、番人衆より多葉粉者勿論、草鞋、草り願出候ハ、差遣し、番人貸附帳江銘々之口江帳入致置可申事、

一、蝦夷人より下帯之外、木綿類并着物等願出候ハ、御支配人江聞合之上取斗可然事、^(4オ)

一、御用状通行之節ハ、別段御用留有之候間、右帳面江相印繼立帳江も書加、繼立可申事、

一、場所々御用状繼来り、夷界^(企)抱方之儀ハ、濁酒差遣し可申事、飯差遣し候ハ、濁酒差遣し不申候而も不苦候事、^(4ウ)

右帳場要用如斯ニ御座候、此外之儀者、万事御支配人江聞合之上、取斗ひ可申事、

文政八年

酉八月^(5オ)

○半丁白紙・裏表紙^(5ウ)

「B5」ヨイチ御場所仕入物書上扣帳

(一)ヨイチ御場所仕入物書上扣帳

○表紙^(1オ)

^(外題)

「文政八年

酉年

ヨイチ御場所仕入物書上扣帳
酉年書上ニ不及

○半丁白紙^(1ウ)

覚

権現丸下り

一、式ツ切塩 四百式拾五俵

一、若狭菰 式拾速^(速)

一、中間縄 五拾丸

一、醤油 壹たる

一、酢 壹たる

×^(2オ)

長栄丸下り

一、津軽米式俵 此升四斗入

一、大山酒 壹たる

一、味噌 壹たる 目形拾式貫三百目

一、酒田縄 式拾丸

- 一、ろうそく 三拾丁
- 一、わらんじ 壺筒 百五拾足入

×〔2ウ〕

松吉丸下り

- 一、鮭網壺脇 五箇
- 一、同袋 式箇
- 一、鮭網百把入 八箇
- 一、実子繩百把結 九丸
- 一、津軽白米 拾俵 此升四斗入

×〔3ウ〕

山王丸下り

- 一、本庄御蔵米 百俵 此升三斗四升式合入
- 一、津軽米 百五拾俵 此升三斗九升四合五勺
- 一、越後酒 三たる
- 一、尺長薙 百速^(速)
- 一、あは繩 五拾丸 但式百尋結
- 一、同細繩 拾丸 但四百尋結
- 一、鮭網百把入 三箇〔3ウ〕
- 一、鮭網壺脇 七箇
- 一、同袋 壺筒
- 一、足掛 壺筒 目形拾六貫式百目
- 一、網苧 式箇 目形拾六貫四百匁目
- 一、三本糸 式箇 目形拾六貫四百匁目
- 一、実子繩百把入 拾三丸
- 一、竹原塩 四百俵

×〔4ウ〕

幸徳丸下り

- 一、庄内米 五拾俵 此升五斗壺升入
- 一、津軽白米 式拾三俵 此升三斗九升壺合
- 一、竹原塩 百五拾七俵
- 一、三ツ切塩 式百六拾俵

一、あば繩 五拾丸 但式百尋結也

一、酒田繩 三百丸

一、若狭薙 百九拾九速^(速)〔4ウ〕

一、中間繩 七拾丸

一、鎌四拾枚入 壺併

一、干棉 目形七貫百匁目

一、干棉 目形七貫百匁目

一、干棉 目形七貫百匁目

× 勢立丸下り

- 一、矢嶋米 百五拾俵 此升三斗五升入
- 一、庄内米 四拾八俵 此升三斗九升壺合入〔5ウ〕
- 一、平沢米 九拾四俵 此升三斗四升入
- 一、津軽酒 三拾樽
- 一、越後酒 式拾五樽
- 一、繩たはこ 拾箇 但三拾繩入
- 一、糶四斗入 拾式叭
- 一、同六斗入 式叭
- 一、みそ 拾樽 拾式貫匁目なりし〔5ウ〕
- 一、醤油式斗入 壺樽
- 一、酢壺斗入 壺たる
- 一、素麵 式箇
- 一、掲布 三拾八反
- 一、上代染 拾八反
- 一、手掛染 式反

- 一、白木綿 九拾反〔6オ〕
- 一、赤萩紙 壹枚
- 一、根花壺升入 貳袋
- 一、革針 三疋
- 一、夷針 三疋
- 一、永代張 百本
- 一、中鉦 拾枚
- 一、木挽糸 五枚
- 一、大工糸 五から
- 一、印墨 貳丁〔6ウ〕
- 一、引切鉦 五枚
- 一、日記墨 五丁
- 一、薄縁 壹速〔速〕
- 一、皿鉢 貳枚
- 一、井 三ツ
- 一、飯茶碗 五人前
- 一、小皿 拾枚
- 一、土瓶 壹ツ〔7オ〕
- 一、中皿 四枚
- 一、やくわん 貳ツ
- 一、茶台 壹ツ
- 一、かんな取合 三玉
- 一、帆蔭 三速〔速〕
- 一、尺三寸鋸 貳枚
- 一、引地同 壹枚〔7ウ〕

○付箋あり（7ウの「一、尺三寸鋸 貳枚／一、引地同 壹枚尺」の貼紙）

- 「一、鋸取合 拾壹枚
- 一、曲尺 三枚」

- 一、尺壹寸鋸 貳枚
- 一、もつた 壹枚
- 一、釘 貳丁
- 一、鑿取合 拾丁
- 一、たかね 三丁
- 一、かんな 九枚
- 一、焼きり 七本〔8オ〕

○付箋あり（8オの「一、尺壹寸鋸 貳枚」の貼紙）
「一、てうな 五枚」

- 一、桧綿五貫匁目 壹丸
- 一、鑄 七丁
- 一、霞大小 貳拾五組
- 一、摺鉢 五枚
- 一、鍋取合 拾枚
- 一、小豆 壹斗
- 一、鞋草 貳箇 百五拾足入〔8ウ〕
- 一、鎌 九拾五枚
- 一、大間切 貳百枚
- 一、中同 百枚
- 一、大板付 拾把
- 一、小板付 拾把
- 一、のし立 拾把

- 一、四ツ椀 拾人前(9才)
 - 一、皆朱膳椀 拾人前
 - 一、黒同 拾人前
 - 一、三六朱取合 貳拾袋
 - 一、五歩鑿 三三丁
 - 一、半切 三百枚
 - 一、半紙 貳咫
 - 一、薄口 壹咫
 - 一、白咫 四樽(9才)
 - 一、あら砥 五丁
 - 一、中砥 四丁
 - 一、木挽鋸 壹枚
 - 一、細工鑿 壹丁
 - 一、手桶 三荷
 - 一、小鍋 貳枚
 - 一、吸物椀 拾人前(10才)
 - 一、皿 拾六人前
 - 一、小皿 拾人前
 - 一、茶香茶碗 拾五
 - 一、草利 百足
 - 一、竹皮同 四拾足
 - 一、網苧 貳箇 め形拾六貫八百匁目なりし
 - 拾六貫三百匁目
 - 拾六貫八百匁目
 - 拾六貫九百匁目
 - 拾六貫七百匁目
 - 拾六貫四百匁目
- (10才)
-
- 一、古手 五拾枚
 - 一、大罇釜 壹枚
 - 一、鯛釜 貳枚
 - 一、干楯 目形式拾六貫匁目
 - 一、実子縄 百把結拾三丸
 - 一、酒田縄 百拾丸
 - 一、若狭筵 百六拾七速(11才)
 - 一、沢庵漬 壹樽
 - 一、蒸籠 五組
 - 一、囘合船釘 四貫五拾匁目
 - 磯船釘取合
 - 幸吉丸下り
 - 一、囘合船釘 拾壹貫匁目
 - 磯船釘取合
 - ヒクニ船ニ而下り
 - 一、足掛 貳箇 目形拾七貫貳百匁目(11才)
 - 一、カキ糸 貳箇 目形拾六貫四百匁目
 - 一、本式酒 拾樽
 - 一、糶三斗式升入 七叭
 - 一、干楯 目形八拾貳貫四百匁目
 - 一、磯船釘 四貫百匁目(12才)
 - 一、大板付 拾把
 - 一、小板付 拾把
 - 一、のし立 拾把
 - 一、相ノ物 拾把

一、鑞 拾丁 一、居風呂釜 式ッ 一、梅干 拾樽(12㍁) 永寿丸下り 一、塩越米 四拾五俵 此升三斗壹升 一、大山酒 式拾樽 一、竹原塩 五拾俵 一、若狭菘 百三拾式速^(寒) 一、酒田繩 式百式拾八丸 一、随糸 壹箇 目形拾六貫六百匁目(13㍁) 一、足掛 式箇 目形拾六貫四百匁目
拾六貫八百匁目 一、市皮 式箇 目形廿八貫六百匁目 一、干楯 目形七拾貫七百匁目 一、越中菘 式拾束 一、蒸籠 式組 一、新碇 七丁 但九貫五百匁目
拾貫匁目迄 一、新鑞 拾丁<small>(13㍁)</small> 一、囃合船釘式艘 目形廿六貫五百目 一、糯白米 壹俵 此升四斗入 一、素麵 式箇 一、切粉 壹箇 百玉入 一、先織 拾七枚 一、針金 五貫匁目 一、小豆 壹俵<small>(14㍁)</small> 一、船釘 八貫五百匁目 一、鯛網 壹箇 | <ul style="list-style-type: none"> 義徳丸下り 一、庄内白米 三拾俵 此升四斗五升壹合 一、大山酒 六拾九樽 一、越後酒 八拾六樽<small>(14㍁)</small> 一、大坂酒 六挺 一、鯡網 式百四放 一、鯡網 七箇百把入 一、金引糸 壹箇 一、地廻り 式拾四箇 一、みそ 拾たる<small>(15㍁)</small> 一、あは繩 八拾七箇 但四百尋結 一、糶六斗入 拾叭 一、同四斗入 五叭 一、同三斗式升入 三叭 一、糯白米 式俵 一、畳 式拾四丁<small>(15㍁)</small> 一、鍋 三拾枚 一、わらんじ 三箇 但百五拾足入 一、醬油 壹たる 一、白伝甫 五ッ 一、半切 五百枚 一、ろうそく 百五拾丁 一、黒かんな 七千<small>(16㍁)</small> 一、手取釜 三ッ 一、船釘 目形廿七貫六百匁目
四十八貫四百匁目 一、玉砂糖 三亀 一、鯛釜 三枚 |
|--|---|

一、網苧 四貫匁目

ㄨ (16ウ)

右者酉年ヨイチ御場所江仕入物書面之通御座候、以上、

西十月

ヨイチ御場所

支配人

長三郎 (17オ)

○半丁白紙・裏表紙 (17ウ)

(二) ヨイチ御場所仕入物書上

○表紙 (17オ)

〔外題〕

「文政八年

酉年

ヨイチ御場所仕入物書上

酉年書上ニ不及」

○半丁白紙 (17ウ)

覚

権現丸下り

一、式ツ切塩 四百式拾五俵

一、若狭苳 式拾速^(東)

一、中間縄 五拾丸

一、醤油 壹樽

一、酢 壹樽

ㄨ (2オ)

長栄丸下り

一、津軽米式俵 此升四斗入

一、大山酒 壹樽

一、みそ 壹樽 目形拾式貫三百匁目

一、酒田縄 式拾丸

一、ろうそく 三拾丁

一、鞋草 壹箇 但百五拾足入

ㄨ (2ウ)

松吉丸下り

一、鮭網一脇 五箇

一、同袋 式箇

一、鮭網百把入 八箇

一、実子縄百把結 九丸

一、津軽白米 拾俵 此升四斗入

ㄨ (3オ)

山王丸下り

一、本庄御蔵米 百俵 此升三斗四升式合入

一、津軽米 百五拾俵 此升三斗九升四合五勺入

一、越後酒 三樽

一、尺長苳 百速^(東)

一、あは縄 五拾丸 但式百尋結

一、細同 拾丸 但四百尋結 (3ウ)

一、鮭網百把入 三箇

一、鮭網一脇 七箇

一、同袋 壹箇

一、足掛 壹箇

- 一、網苧 貳箇
 - 一、三本糸 貳箇
 - 一、実子縄百把結 拾三丸〔4オ〕
 - 一、竹原塩 四百俵
- ✕
- 幸徳丸下り
 - 一、庄内米 五拾俵 此升壹升入
 - 一、津軽白米 貳拾三俵 此升三斗九升壹合入
 - 一、三ツ切塩 貳百六拾俵
 - 一、竹原塩 百五拾七俵
 - 一、あは縄 五拾丸 但貳百尋結也〔4ウ〕
 - 一、酒田縄 三百丸
 - 一、若狭苳 百九拾九速〔速〕
 - 一、中間縄 七拾丸
 - 一、鎌 四拾枚
 - 一、干楯 目形七貫百目
- ✕
- 勢立丸下り
 - 一、矢嶋米 百五拾俵 此升三斗五升入〔5オ〕
 - 一、庄内米 四拾八俵 此升三斗九升壹合入
 - 一、平沢米 九拾四俵 此升三斗四升入
 - 一、津軽酒 三拾樽
 - 一、越後酒 貳拾五樽
 - 一、縄たはこ三拾縄入 拾箇
 - 一、糶四斗入 拾貳叭
 - 一、同六斗入 貳叭〔5ウ〕
 - 一、味噌 拾樽
- 一、醤油 壹樽
 - 一、酢 壹樽
 - 一、素麵 貳箇
 - 一、掲布 三拾八反
 - 一、上代染 拾八反
 - 一、手掛染 貳反〔6オ〕
 - 一、白木綿 九拾反
 - 一、赤萩紙 壹✕
 - 一、根花壹升入 貳袋
 - 一、革針 三疋
 - 一、蝦夷針 三疋
 - 一、永代張 百本
 - 一、中鉦 拾枚〔6ウ〕
 - 一、木挽糸 五枚
 - 一、大工糸 五から
 - 一、印墨 貳挺
 - 一、引切鉦 五枚
 - 一、日記墨 五丁
 - 一、薄縁 壹速〔速〕
 - 一、皿鉢 貳枚〔7オ〕
 - 一、井鉢 三ツ
 - 一、なら茶碗 五人前
 - 一、小皿 拾枚
 - 一、土ひん 壹ツ
 - 一、中皿 四枚
 - 一、やくわん 貳ツ
 - 一、茶台 壹ツ〔7ウ〕

- 一、総取合 三玉
 - 一、帆塵 三速^(巻)
 - 一、鋸取合 拾壹枚
 - 一、曲尺 三枚
 - 一、鉦 五丁
 - 一、もつた 壹丁
 - 一、釘^メ 式丁^(8オ)
 - 一、鑿取合 拾丁
 - 一、たかね 三丁
 - 一、鏡 九枚
 - 一、焼鐘 七本
 - 一、絵綿五貫目結 壹丸
 - 一、鉞 七挺
 - 一、霞大小 式拾五組^(8ウ)
 - 一、摺鉢 五枚
 - 一、鍋取合 拾枚
 - 一、小豆 壹斗
 - 一、鞋草 式箇 但百五拾足入
 - 一、鎌 九拾五枚
 - 一、間切大小 三百枚
 - 一、大板付 拾把^(9オ)
 - 一、小板付釘 拾把
 - 一、のし立 拾把
 - 一、四ツ椀 拾人前
 - 一、皆朱膳椀 拾人前
 - 一、黒同 拾人前
 - 一、三六朱 式拾袋
-
- 一、五步鑿 三丁^(9ウ)
 - 一、半切 三百枚
 - 一、半紙 式^メ
 - 一、薄口紙 壹^メ
 - 一、白^メ油 四たる
 - 一、あら砥 五丁
 - 一、中同 四丁
 - 一、木挽鋸 壹枚^(10オ)
 - 一、細工鉞 壹丁
 - 一、手桶 三荷
 - 一、小鍋 式枚
 - 一、吸物椀 拾人前
 - 一、皿 拾六人前
 - 一、小皿 拾人前
 - 一、茶吞茶碗 拾六^(10ウ)
 - 一、草利 百足
 - 一、同竹皮 四拾足
 - 一、網苧 式箇
 - 一、足掛 五箇
 - 一、古手 五拾枚
 - 一、大罇釜 壹枚
 - 一、罇釜 式枚^(11オ)
 - 一、干楯 目形式拾六貫目
 - 一、実子縄 百把結拾三丸
 - 一、酒田縄 百拾丸
 - 一、若狭筵 百六拾七速^(速)
 - 一、沢庵漬 壹たる

- 一、蒸籠 五組
- 一、囟合船釘 四貫五拾目
磯船釘取合 (11ウ)
- ×
- 幸吉丸下り
- 一、囟合船釘 目形拾壹貫目
磯船釘取合
- ×
- ヒクニ船ニ而下り
- 一、足掛 式箇
- 一、カキ糸 式箇
- ×
- 一、大山酒 拾樽 (12オ)
- 一、糶三斗式升入 七叭
- 一、干楯 目形八拾貳貫四百目
- 一、磯船釘 四貫百目
- 一、大板付釘 拾把
- 一、小板付釘 拾把
- 一、のし立 拾把
- 一、相ノ物 拾把 (12ウ)
- 一、鉞 拾丁
- 一、居風呂釜 式ツ
- 一、梅干 拾樽
- ×
- 永寿丸下り
- 一、塩越米 四拾五俵 此升三斗壹升入
- 一、大山酒 式拾樽 (13オ)
- 一、竹原塩 五拾俵
- 一、若狭筵 百三拾貳束
- 一、酒田繩 貳百貳拾八丸
- 一、カキ糸 壹箇
- 一、足掛 式箇
- 一、市皮 式箇
- 一、干楯 目形七拾貫七百目 (13ウ)
- 一、越中筵 式拾束
- 一、蒸籠 式組
- 一、碇 七挺
- 一、鉞 拾挺
- 一、囟合船釘 目形式拾六貫五百目
- 一、糯米 壹俵 此升四斗入 (14オ)
- 一、素麵 式箇
- 一、切粉白玉入 壹箇
- 一、先織 拾七枚
- 一、針金 目形五貫目
- 一、小豆 壹俵
- 一、船釘 目形八貫五百目
- 一、罽網 壹箇
- × (14ウ)
- 義徳丸下り
- 一、庄内白米 三拾俵 此升四斗五升壹合入
- 一、大山酒 六拾九樽
- 一、越後同 八拾六樽
- 一、大坂同 六挺
- 一、鯡網 式百四放

- 一、同百把入 七箇〔15オ〕
- 一、金引糸 壹箇
- 一、地廻り 貳拾四箇
- 一、味噌 拾樽
- 一、あは縄 百七拾四丸 但貳百尋結也
- 一、糺六斗入 拾叭
- 一、同四斗入 五叭
- 一、同三斗貳升入 三叭〔15ウ〕
- 一、糯白米 貳俵
- 一、畳 貳拾四丁
- 一、鍋 三拾枚
- 一、鞋草 三箇 但百五拾足入
- 一、醬油 壹たる
- 一、白伝甫 五玉
- 一、半切 五百枚〔16オ〕
- 一、ろうそく 百五拾丁
- 一、黒かんな 七千
- 一、手取釜 三ツ
- 一、船釘 目形四拾八貫四百目
- 一、玉砂糖五斤入 三亀
- 一、鯛釜 三枚
- 一、網苧 め形四貫目

×〔16ウ〕

右者当西年ヨイチ御場所江仕入物書面之通御座候、以上、

西ノ十月

ヨイチ御場所

支配人

長三郎〔17オ〕

運上家

○半丁白紙・裏表紙〔17ウ〕

〔B6〕 申上候事

申上候事

一、前請負人之節、支配人勘五郎引取後、当七月に新請負人ニ相成候処、格別之手当ニ相成、一統忝次第ニ存候処、無其儀運上家手先キ番人共江者勿論、支配人ニ対し酒ニ酔色々我俣申募り候処、此度御咎被下、誠ニ以驚入申候、夫ニ付外ノ乙名小使共々段々承り候処、存知之外運上家ニ而喧嘩口論いたし、猶亦夷人共江難題ケ間敷事申募り候様、夷人共々承り、乍我誠ニ後悔仕候、此末共急度相慎、決して彼是申間敷候、此段申上候、以上、

此主

文政八年

西八月三日

ヲツカイホ（爪印）

イコノシミ（爪印）

モト（爪印）

イナヲリ（爪印）

シイホロ（爪印）

「B7」御場所諸品直段附帳

○表紙〔1オ〕

〔外題〕
御場所諸品直段附帳

上、下ヨイチ

運上家

○半丁白紙〔1ウ〕

○半丁白紙〔2オ〕

○半丁白紙〔2ウ〕

御軽物御定直段附

一、熊皮

熊膽添

但し穴熊

三俵より
五俵まで

上中下其品に応し、

同 野熊 三俵より
三四俵迄

上中下其品に応し、

同カヒ熊 壹俵

同

ズ〔3オ〕

一、獺皮

但し直段米式升五
米式升五合まで

一、ホイヌ皮

但し直段
米壹升

一、狸皮

米壹升壹盃

一、狐皮

但し中
米壹升
同三盃
米式升〔3ウ〕

但し其品に応し、

一、水豹皮

但し直段
米壹升

一、蝶鯨

一、鷲〔4オ〕

右之通御定直段、其品ニ応し見斗ひニ買入可申事、〔4ウ〕

一、煎海胤

但し三百三拾二付
造米壹俵

内訳小買 三拾二付
米式盃

一、蛇

但し五百二付
造米壹俵

但し当御場所などハ、小貝之蛇斗出増候ニ付、為手当之大小ニかゝ
わらず前書之通買入置、尤小買之儀者、〔5オ〕左之通ニ定、

一、大貝 五拾二付米三盃

一、中貝 五拾二付米式盃

一、小貝 五拾二付米壹盃

一、外割鯢

八束二付
造米壹俵

内訳壹連ニ付焚飯壹盃〔5ウ〕

一、干しら子

壹樽二付
米式升

一、同鯨鯢

右同断

一、さゝめ

式拾壹貫匁目ニ付
米式升

一、干鱈

八束二付
造米壹俵

一、同鯢

四束二付
右同断〔6オ〕

一、鮫鱈

拾束二付
右同断

一、鮭

〔朱書〕
午年改式東半二付

一、鮭

四束二付
右同断

但し後買ハ五束ニ付右同断、

一、干鮭 七束二付
造米壹俵

一、昆布 五貫匁目二付
米壹升〔6ウ〕

一、魚油 壹升二付
〔清〕
青酒壹升〔7オ〕

一、浮木 拾枚二付
米壹盃

一、楯浮木付苧

貳拾尋二付
右同断

一、簾 拾枚二付
米壹升

一、アフスケ 壹枚二付
米貳升

但し長サ貳尋位、中より下ハ其品に応し、

○7ウの「簾」「アフスケ」の部分に貼紙あり

〔朱筆〕
上 壹升

中 三盃

下 貳盃

上 貳升

中 壹升五合

下 壹升

〽 〔7ウ〕

一、キナ 壹枚二付
米六升

但し右品ハ、模様付直段高下これ有候、

一、厚子 壹反二付
〔清〕
青酒貳升

但し平口長厚子之儀ハ、直段宜鋪買入候、

一、楯皮 壹貫匁目二付〔8オ〕
米貳盃

○半丁白紙〔8ウ〕

一、椴早切 拾本二付
米貳升
但し三尋半二定

一、同桁 壹本二付
米壹升
但し長サ五尋二定メ

一、杭 拾本二付
米壹升

一、長へけ 壹挺二付
米三盃

一、ワカケ 壹枚二付
米貳盃

但し小へけ之事也、〔9オ〕

一、椈 五貫匁目二付
米壹升

一、柏木皮 拾貫匁目二付
米壹升

一、菅 なま拾わ二付
米壹盃

一、筥 壹枚二付米貳盃
但し長サ貳尋定

一、蝦夷舟 見はからひ〔9ウ〕

一、車かへ 壹車二付
米貳升

一、割木舞 貳拾枚二付
米壹盃

一、薪 壹敷二付
米六升

但し五尺五寸四方之定、尤薪之儀者、古来之ことくたもき、ならの
木堅木之類ニ而定、外木品ハ半直段ニ定、〔10オ〕

内訳

モロミ小樽壹樽、地廻煙草三抱之替、地廻り煙草三抱之替り米

六升、

一、古地金 見計らひ

一、〔10ウ〕

一、春番家雇給代

内訳

- 一、船頭役給代七俵より八俵迄
- 一、船頭手伝六俵より七俵まで
- 一、並雇ハ五俵より六俵迄
- 一、女ノ子四俵より四俵半迄

但し女ノ子之義ハ番家におゐて〔11オ〕鯡つぶしの節ハ生数子
 壺樽ニ付米壺升之手当を致す、右代料商買中造米拾式三俵位
 つゝ、給代之外別段ニ被下之、

一、番家飯焚三俵方四俵迄、但し春番家ばかり、
 右給代之儀ハ、大漁之年柄ハ、手当〔11ウ〕これあり候、

一、秋味雇給代

内訳

- 一、船頭役七俵方七俵半迄
- 但し秋味船頭役ハ和人船頭ニ付少々下直〔12オ〕
- 一、並雇六俵より五俵迄
- 但し増毛出稼見計ニ而
- 一、女ノ子四俵より四俵半迄
- 一、ヘカチ三俵方三俵半迄
- 但し身ならひヘカチハ其時に応し、
- 一、カンナエカシ煙草壺抱方式抱まで〔12ウ〕
- 但し格別骨おり候者ハ式俵見はからひにて被下之、

右者勘定之節前書之通被下之、尤大漁之年柄ハ、別段手当を被下之、〔13オ〕

- 一、山仕事
- 一、材木下ケ
- 一、介抱左之通

一、焚飯壺盃ツ、朝昼両度分、夕部ニ米壺盃ニ濁酒式盃、

右者壺人ニ付一日之介抱手当とも被下之、〔13ウ〕

- 一、女ノ子、ヘカチ、介抱右同断、夕部米式盃宛被下之、
- 一、乙名、小使加勢之筋ハ、番人同様ニ朝白飯に汁を添、昼共ニ夕部ニハ米式盃ニ濁酒式盃宛被下之、

右山仕事之儀ハ、年々たまく之〔14オ〕仕事ニ候、前日ニ乙名、小使相談致し、差支無之様一統申合、朝、早朝、夕部ニハ早仕舞時分柄之任事故、一統難義ニ不相成様取計可申事、

附タリ、大勢之蝦夷人共、酒斗之願出候共、言書之手当ニ而宜敷候、酒斗差遣候而ハ、翌日之差支ニ相成候、若可遣候ハ、〔14ウ〕女ノ子、ヘカチ斗米入替に可遣候事、

一、春鮭場介抱之儀者、古来之通可取扱候事、〔15オ〕

一、秋味雇介抱左之通

- 一、壺人江壺度之焚飯、
- 一、壺度ハ濁酒壺盃
- 一、壺度ハ米壺盃、
- 右之外ハ、肴ニ而手当致し候、〔15ウ〕
- 一、年中諸人足介抱左之通、
- 但し諸人足入用之節ハ、前日ニ小使を以継立可申付候事、
- 一、朝飯前より相告候人足ハ、両度之焚飯介抱、帰之節手当与して、米なり濁酒也望品ニ而式盃宛被下之、
- 一、前日に継立置候人足、翌日朝〔16オ〕飯後ニ相告候人足江、焚飯壺度、夕部ニハ焚飯壺盃ニ米壺盃、遅ク相告候ニ付右之ことク

可取扱事、
附タリ、焚飯式度ニいたし、夕部ニハ米壹盃可遣定メ、

右介抱之儀ハ、文政十三寅年改而、乙名小使共願ニ付聞之済、〔16ウ〕

一、御通行搔送人足介抱之儀、是迄之通り、

附タリ、御役人様より被下置候米壹人ニ付五合宛之儀者、酒なり、

米なり、望ミ之品別段ニ被下之、

一、御用状継送人足介抱之儀者、これ迄之通り、〔17オ〕

一、イワナ井越山道儀、難所故、別段手当壹人ニ付造米壹俵、又者時分柄ニ差

立候ハ、造米式俵之手当被下之、〔17ウ〕

払直段書

一、青酒壹升 但し米式升之替

一、糶 壹升 但し右同断

一、濁酒壹升 但し米壹升之替〔18オ〕

一、地廻り煙草壹抱〔把〕 但し米式升之替

一、切粉 式玉 但し地廻り煙草壹抱之替

但し壹玉ハ米壹升之替り

一、白木綿六尺三寸壹筋 但し地廻り壹わ之替り

一、掲布五尺ニ付壹筋 但し右同断〔18ウ〕

一、上代染五尺ニ付壹筋 但し右同断

一、絞り類 五尺ニ付壹筋 但し右同断

一、黒かんな 但し拾六操ニ付米壹升

一、白かんな 但し其品に応し〔19オ〕

内訳

上古手壹枚 七俵

中同 五俵より六俵迄

次小共同 三俵より四俵迄

一、能代裂織壹枚 但し四俵より三俵半まで〔19ウ〕

一、碓裂織壹枚 但し式俵より式俵半まで

但し半襟付ハ直段宜敷候、

一、単物壹枚 但し式俵より三俵迄其品ニ応し、

一、袷羽織 但し其品ニ応し見はからひ、

但しもん葉ハ七俵尻、これも其品に応し、〔20オ〕

一、絹古手 但し其品に応し

但し上ハ三拾俵、中ハ式拾俵見計らひ、

一、指足袋 但し造米壹俵尻

一、手懸 但し右同断

一、手拭 但し地廻り煙草壹抱〔把〕〔20ウ〕

一、木綿針 但し四本ニ付米壹升

一、皮針 但し式本ニ付右同断

一、永代張鎌 但し壹本ニ付地廻り煙草壹抱

一、火打壹枚 但し米壹升〔21オ〕

内訳

木挽大ヤスリ 壹俵尻

中ヤスリ 三抱〔把〕

同 式抱〔把〕

小同 壹抱〔把〕

極同式枚ニ付 壹抱〔把〕

×〔21ウ〕

<p>一、間切</p> <p>内訳</p> <p>極大間切杓枚 地廻り煙草杓<small>(把)</small></p> <p><small>〔朱筆〕</small>「大間切杓枚 杓升五合」</p> <p><small>〔朱筆〕</small>「中」大間切杓枚 米杓升</p> <p>小同 米五合</p> <p>エキハ
□□□□
□□□□</p> <p>一、大鯖刺</p> <p><small>〔朱筆〕</small>「<small>△</small>但し津軽注文之大鯖刺ハ、杓枚米杓升<small>(22オ)</small>」</p> <p>一、田代杓枚 但し造米杓俵</p> <p>一、山刀杓枚 但し右同断</p> <p>一、鐮 杓挺 但し右同断</p> <p>一、鎌 杓枚 但し地廻り煙草式抱<small>(把)</small></p> <p>一、カスベ針 但し米杓升</p> <p>一、単引鉄 但し杓組ニ付煙草式わ</p> <p>一、単引ヤス 但し造米杓俵其品に応し</p> <p>一、蛇ヤス <small>(23オ)</small> 但し其品に応し</p> <p>内訳</p> <p>大ヤス 杓俵</p> <p>中ヤス 三抱<small>(把)</small></p> <p>小ヤス 式抱<small>(把)</small></p> <p>一、蛇はなし 但し米三盃</p> <p>一、庖丁 但し煙草三抱<small>(把)</small></p> <p>但し大庖丁ハ杓俵尻</p>	一、鍋 内訳 杓升焚 造米杓俵 杓升五合 杓俵杓抱(把) 式升焚 杓俵式抱(把) 式升五合 造米杓俵三抱(把) 三升焚 杓俵式わ 四升焚 杓俵杓抱(把) 五升焚 杓俵 六升焚 杓俵 七升焚 杓俵式抱(把) 〆(24ウ) 図なし 一、大酒桶 但し七俵より八俵迄 一、同式番 但し五俵より六俵まで(25オ) 一、同三番 但し三俵半より四俵迄 一、同小 但し造米三俵 一、大鴨々 但し造米杓俵 一、同中 但し煙草三抱(把) 一、同小 但し煙草式抱(把) 一、内赤松提 但し造米杓俵 一、同小 但し煙草三わ 一、杓ツ腕 但し式ツニ付米杓升(26オ) 一、おしき膳 但し杓枚ニ付煙草式わ 〔朱筆〕「山田おしきせん 杓枚ニ付三わ尻」 一、春慶湯当 但し造米杓俵 一、同小 但し造米杓俵

- 一、春慶ふるけ 但し煙草式わ、小ハ壺わ〔26ウ〕
- 一、行器 但し上行器壺 五拾俵
 中同 壺 其品に応し
- 一、台盃 但し上ハ 七俵より八俵まで
 中ハ 五俵
 〆〔27オ〕
- 一、皆朱絵提 但し造米七俵
- 一、同黒紋付ちらし付 但し右同断
- 一、同中 但し四俵より五俵まで
- 金紋ちらし付
- 一、皆朱耳鹽 但し八俵より拾俵まで〔27ウ〕
- 一、黒同 但し七俵より八俵まで
 但し内赤逸掛ちらし付
- 紋付ちらし形
- 一、皆朱湯当 但し五俵より七俵まで
- 一、同中 但し三俵より四俵迄其品に応し
- 一、小田原鉢 但し十俵より十五俵、大ハ廿俵迄〔28オ〕
- 一、極小青玉 壺尺五寸
- 代
- 一、鯡網壺放シ 但し造米式俵
- 一、外割八束二付 但し造米壺俵
- 一、けら壺枚 但し右同断〔28ウ〕
 代米三升
- 一、雨合羽 但し壺枚米四俵

一、草鞋五束二付

〔朱筆〕米壺升〔傍線も朱筆〕
 但し煙草壺把

〇29才に付箋あり

- 箱入
- 一、極上台盃壺組 拾俵 一、皆朱わん壺ツ 二俵半
- 一、シヤク上々壺本 四俵 一、黒塗同壺ツ 二俵
- 一、シヤリ耳金 大壺四俵 一、極々小青小玉壺尺五寸付 壺俵半
 小三俵

〇29才左半分に付箋貼付

- 一、鍛次炭 九樽付 式升 一、秋味釜薪 壺敷
- 一、色玉壺連 五十粒 五俵也 〔朱筆〕 樞繩同断 中式升
- 一、唐太太壺玉 壺俵也 一、役厚子壺枚 乙名小使共分
- 一、同小五拾一連 壺俵也 但キナ壺枚 上酒壺升
- 一、単物壺枚 三俵也 六俵迄 濁〃壺升
 米壺升
- 一、土産取夷人 一、上々五合 濁り壺升
 米壺升

〇29才付箋貼付下に記載あり

- 一、鍛冶炭 九樽二付 右同断
- 一、玉五拾ツフ 五俵尻り
- 一、唐人玉壺つら 壺俵尻り
- 一、同大玉壺ツフ 壺俵尻り 〔29オ〕

右者当御場所諸品直段附、前書之通ニ御座候、以上、

文政十三年

庚寅十一月写し

壹尺四寸定メ

〔朱筆〕

一、上ノ先折

四俵

坪糸壹から

「 」〔29ウ〕

〔墨筆〕「十わハ壹丸なり」

一、中間繩壹丸ニ付

壹俵尻

〔朱筆見せ消ち〕

「 」

一、檢綿壹わニ付

壹升五合尻

小豆壹升

米式升代〔31オ〕

一、大板付一わニ付

壹わ尻

鮭アタ

但し百斗入

百匁三百四拾文

一、小板付壹わニ付

壹升五合尻

同断

五十わなり

一、酒田繩壹丸ニ付

貳わ壹升

単引繩

一、小へり釘拾本ニ付

壹升壹盃尻

半丸五百六拾文

一、かすかへ壹枚ニ付

壹盃尻

箱菓子壹箇

一、五寸釘拾本ニ付

壹升五合尻

百五文

一、三寸釘拾本ニ付

三盃尻

〔墨筆〕「匏壹丁」

〔墨筆〕「凡壹はい」

一、網かさ壹かへニ付

壹升五合尻

壹ツ米壹はへ

のし立壹わ

」〔30オ〕

〔朱筆〕

一、大判わた壹枚ニ付百五文

一、手さら壹足ニ付百四十文

一、八鯖刺 壹挺百四十文〔30ウ〕

○31オ付箋あり

「黒塗 四ツ組丸重

四俵

三ツ組

式俵半

山田重

二俵

壹塗せん 壹枚

三俵

能代足掛

三俵

浅黄

二俵

小豆壹升

○半丁白紙・裏表紙〔31ウ〕

「B8」上下ヨイチ御場所年中日要記

○表紙〔1オ〕

〔外題〕
「文政十三年庚寅十一月改之」

上下ヨイチ御場所年中日要記

運上家

○半丁白紙〔1ウ〕

○半丁白紙〔2オ〕

○半丁白紙〔2ウ〕

正月

一、元日朝四ツ時於ユウカ、越年番人中、互二年頭之御祝詞可致候事、

但しヲシヨロ場所へ年始番人差遣し可申候事、〔3オ〕

一、毎月朔日、十五日、廿八日、参日ニ、神々様江御神酒御備可申候事、

一、毎月三日、八日、廿七日、

龍神様江右同断

一、毎月七日

弁財天様江右同断〔3ウ〕

一、毎月十日、

金比羅様 右同断
稻荷様

一、夕部ニ越年頭役、年始之御祝儀可致候事、〔4オ〕

右御祝儀として、青酒〔清〕壹樽被下之、但し七草中、御神酒差上可申候事、

一、二日諸事取初メ、藏開等御祝儀可致候事、

定〔4ウ〕

一、漁場所江一流相廻候節者、持参之諸品入念、漁業中差支無是様心掛、荷物出情可致候事、

一、漁業中喧嘩〔口論〕向論等いたし間鋪候、〔5オ〕数多追鯉取入込之御場所ニ候間、是又向論ケ間鋪儀無是様可心懸事、
〔付箋剥離〕

一、初メ而相下り候稼方之者、心得違ひ無是様、出情いたし〔寸〕迄嚴重ニ申付、永々相勤候様可申付候事、〔5ウ〕

一、蝦夷人共取扱方等嚴重ニいたし、猶買入之品有是候ハ、直段帳之通取斗江、決而妄ニ取扱いたし間鋪候事、

一、番家々持頭役并船頭共、勝手〔6オ〕次第ニ帰郷相成不申候、若不叶要用病氣等之節、於其処申合、商売筋差支無是手配いたし、代々帰郷可致様可心掛事、〔6ウ〕

一、数々不申及、番人中一流心得違無是様、且其持々番家諸事大切ニ相守可申候事、

一、於昼頃ニ、乙名小使共年頭之礼ニ〔7オ〕相越候、其節左之通取扱可申候事、

一、乙名小使共惣人数江青酒〔清〕四升被下之、

一、吸物膳上ニ吸物椀ニ而、セツ御祝儀として汁粉糯被下之、〔7ウ〕

○8オに付箋あり

「天保四年巳秋、米穀隣国不作付大変故ニ、此酒等俟約付、元日御神酒之内」

一、数ノ子皿ニ付、相添可申候事、

一、行物切糰五枚宛々被下之、

一、ヲシヨロ年頭取扱ニ付、青酒壺樽被下之、

一、三ヶ日中番人中一流休日可致候事、

一、若年之者出情いたしまて、酒決而相成不申候事、

一、召焚十六日迄休日無是候事、

一、五日先例之通御年始御礼、イシカリ表江番人中前日相越可申候事、

一、御進物

御重役様 黒鮑三百

御徒士様 同式百五拾

御医師様 同式百五拾

御下役様 同式百五拾

ヲタスツ

御詰合様 同式百

元小家 同式百

ズ〔9オ〕

右之通御座候、右品等之儀者、蝦夷人足を以相越可申候事、帰郷之節者、酒酒式盃、米吉升つ、壺人ニ付被下之、翌日休息可申付候事、

但しわらんじ等無代也、

一、七日門松不残相納可申候事、

一、十一日御船玉為祝、青酒壺樽被下之、

其節番家々相廻り候ハ、取越、賑々鋪御祝儀可致候事、

番家々船印 筒鯡吉速御膳江

一、ユウカ江蛭子様御掛物 御神酒壺

番家々船印 鮭式尺御膳

右御船玉御祝儀御場所

御祝儀兼

飯 白 黒鮑
平 のし昆布
とふふ

御膳式

汁 かまほこ 皿 数ノ子
みそ

右之通御座候、御酒肴其節思ひく料理ニ而、賑々鋪御祝儀可致候事、

一、乙名小使共為御祝儀与青酒式升、酒酒式升被下之、

一、八ヶ所船頭江青酒式升、濁酒共、

但し壺盃宛々貸附亦有之候、

一、十五日為御神酒青酒壺樽被下之、

一、十六日運上家召焚共休日之事、

右召焚共、一日之休日ニ申付、代り初メ而下り番人手伝可申付候事、

但し番家二相廻候ハ、見計へ呼出し可申付候事、

二月

一、初午稻荷様御祭礼ニ付、小豆飯差上可申候事、
一、御神酒青酒式斗入壺樽被下之、

但し其年柄寄、番家々江相廻候ハ、心倍之者御神酒頂戴ニ相越可申候事、但し小豆五升五合也、

一、御城下表支配人相下り候上者、

一、乙名小使共江、着為祝江青酒壺升并濁酒式升添被下之、

一、イシカリ表江春番船下着御届ケニ、支配人相越可申候事、

但し御進物御年始之節同様御座候、蝦夷人足共前段之通、

一、二八追鯡取船、当御場所致入津候ハ、御判表等嚴重相改候上者、

御判帳ニ無書違様相印、六月中御詰所江書上可致候事、
一、当御場所ニおゐて、造船之御免判持参者有是候ハ、右同断、

但し〔13オ〕

造船出来之上者、寸尺相改、出帆之節、

江指沖ノ口御役所江、是迄之通書附番人江差遣し可申候事、

一、追鯿取入津いたし相揃候上者、日柄見合、当御場所限為大寄合与〔13ウ〕
流呼寄セ、御法度之儀申渡候節者、大漁之為祝江、左之通地走可致候
事、

一、奥中書座鋪床間江

筒鯿耆束御膳ニ

一、蛭子様掛物 御神酒耆、但し御錢米

御赤飯耆重ニ〔14オ〕

前書之通

青酒式斗入式樽被下之、御酒肴沢山ニ賑々鋪御祝儀可致候事、

但し赤飯耆盆宛々一同江被下之、

一、初鯿相揚候上者、神明様江相備江〔14ウ〕惣神々様江御神酒差上可申候事、

一、追鯿取無断茂我假ニ山入等致、木品等伐出し候ハ、嚴重取斗江可致候
事、

但し大寄合之節、右躰申渡し置候、〔15オ〕

○15オに付箋あり

「天保四年巳秋中、近国隣国共米穀類不作付大變、皆儉約かひなく
候、」

一、追鯿取江蝦夷人は迄之通出稼いたし、引払迄之内、蝦夷人共妄いたし候儀
相聞江候ハ、其所之番家方嚴重に可申付事、

但し不相分候ハ、運上家ニ可申出候、〔15ウ〕
三月

一、節句為御祝儀赤飯いたし候而、御神酒共惣神々様江差上可申候事、

但し浜名主方江耆重宛々被下之、〔16オ〕

○16オに付箋あり

「天保四巳年、米穀類近国隣国共不作ニ付、大變皆儉約之事、」

一、イシカリ御下役様シヤコタン迄御見廻有是候間、前日ニ座鋪等手入いたし
可申候事、

但し御進物鮑式百差上可申事、

一、御医師様シマコマキ迄御見廻有是候、其節病氣蝦夷人有是候ハ、〔16ウ〕
御菓御願、蝦夷人介抱いたし、取扱可致候事、

但し御菓頂戴之上者、是迄之通書上可致候事、尤「御進物式百
〔貼紙抹消〕
御供百」

都而書上之儀者、控書共兩冊宛々相認メ可申候事、

一、氷割弁財船相下り候ハ、滞船中〔17オ〕案内ニ而茂間掛等差図可申候事、

一、弁財船下り込、間掛等いたし候ハ、其日方昼夜共番附万事被
仰
付候通取斗へ可申候事、

一、氷割之弁財船相下り候ハ、早速〔17ウ〕御判表相改、帳面ニ印置、御掛り
御詰合様江御進物添、御届可申上候事、

一、御輕物不残相調子、差上可申候事、

其節

一、御輕物書上式冊、但し耆冊イシカリ、〔18オ〕
耆冊松前表へ

一、漁場所江漁業為祝ひ青酒耆樽ツ、差遣し候事、

一、当月中役鯿納蔵々致手入、且自分方人足を以、身欠結立之ふつ等申付、差

支無是様取斗可申候事、〔18ウ〕

但シアツ皮成とも見斗へ可申付事、

一、竹針三百本位用意可致事、

一、漁業見合御献上鯨鱈可申候事、

四月

一、御通行前日普請等いたし、且〔19オ〕御取扱等大切相心得、差支無是様可致候事、

但し張替しやうし紙五束五状

あんと紙拾八枚

且とかへ等用意いたし置可申候事、

一、畳表替右同断、〔19ウ〕

一、役鯨納之節者、嚴重請取相済後、為地走見斗三品御酒肴〔20オ〕にて青酒呑次第ニ被下之、

一、大酒いたし、若於運上家ニ我俣有是候節者、式度目より其追鯨取へ

〔馳〕地走無是候、

一、勝手ニ酒持參相成不申候事、〔20オ〕

一、御通行御先触至來いたし候上者、御用留帳江相印、猶先々様子案内之手紙差遣し、先々手配方差支無是様隣場互申合可致候事、

但し御先触昼夜〔21オ〕差送り可申候事、〔20ウ〕

一、当御詰合様御案着之上者、御進物左之通、

一、黒鮑三百

〔船紙〕「一、金弍百疋」但し元者酒壺樽差上申候処、近来御酒御望無是候付、

目録いたし候、

〆但し酒之儀者御在勤中御呑用之積りにて御断可申上候事、

一、イシカリ御詰合様御着之上者、御案着為恐悦、御届支配人相越可申候事、

其節

一、御重役様 黒鮑三百

一、御徒士様 弍百五拾〔21ウ〕

一、御医師様 右同断

一、御下役様 御越年ニ付五拾増
右同断

一、御詰合様 右書有是候通
右同断 弍百宛々

一、ヲタルナイ 弍百宛々

一、御家来衆 御寺人ニ付百宛々

〆外ニ

一、元小家弍百疋〔22オ〕

〇22オに付箋あり

「御詰合様御案着之上者金納御窺江、御聞済相成候上者、是迄之通取斗江可申候事、」

右之通御座候、諸人足之儀者、仕来之通可致候事、

一、毎朝当 御詰合様江御用向為御窺、三役之者可罷出事、〔代り〕

一、毎月朔日、十五日、廿八日、三度御礼可申上候事、〔22ウ〕

但し御礼日者、御盃差上可申候事、

一、御酒肴者、其節見斗ニ可致候事、

一、御詰合様并御通行之節ともニ、番人中老流酒呑候事相成不申候事、

事、

一、御在勤中大切ニ御取扱可申上候事、〔23オ〕

一、出産物積取船入津いたし候ハ、御判早速御詰合様江御目掛、弁財船頭御

〔舟〕窺江ニ差出可申候事、

一、右御判帳面ニ相印、八月中イシカリ表江書上可致候事、〔23ウ〕

一、弁財より御詰合様江、御進物世話いたし、差上可致候事、

一、御詰合様他場所江御見廻之節者、番人差添、差遣し可申候事、

但し召焚之外差遣し可申候事、〔24オ〕

一、番家々方荷物積来り候節者、其船乗込之蝦夷人共江、濁酒式盃ツ、被下之、

五月

一、節句致赤飯を、神々様江御神酒共〔24ウ〕相備江可申候事、

一、しやうふ、よもぎ、蔵々まで不残相祝ひ可申候事、

一、赤飯兩名主江壹重宛々被下之、

一、御詰合様朝よもぎ御酒御盃差上可申候事、〔25オ〕

○25オに付箋あり

「天保四巳年近国隣国共、米穀不作ニ付、皆儉約之事、」

一、夕部二者御酒肴ニ而御盃、御吸物肴、御料理之御膳ニ而御取扱、御

祝儀之事、

一、出稼蝦夷人マシケ追鮑手配方、前日二人別いたし、糴味当所雇へ、出稼等

差支無取斗可致候事、〔25ウ〕

一、フルウ場所江追鮑有是候、右両場所江差出し候節者、壹ヶ所江番人
式人宛々差添、差出し可申候事、

一、十日両社御祭礼、浜名主方江入用之品運上家より取替、賑々鋪修〔26オ〕行
可致候事、

一、出稼不残引取、休息可申付事、

一、追鮑行、人別之通申付、休息中支度心掛可為致事、

一、役厚子皮取、糴味入用之楯〔26ウ〕高割合ニいたし、山入申付、差支
無是様可取計候事、

一、糴味中焚用之椀之儀も右同断、

一、出稼引取之上者、濁酒式盃ツ、被下之、

但し人別改メ、見斗之上、右同断、

一、追鮑差出し候節者、前日ニ〔27オ〕当御詰合様江、是迄之通御届可申上候
事、

一、蝦夷人共追鮑ニ相越節者、入用之品、且家内暇乞江、青酒式盃ツ、〔27ウ〕
貸附可致候事、

一、諸品番人持参之品、是迄之通別紙有是候、帰郷之節者、荷物等番人
限相調子、取高其人申聞候上、帳面ニ相印、勘定之節間違ひ無是

様、相心得可申候事、〔28オ〕

一、単鮑買入之儀者、別紙直段帳ニ有是候通、大貝、小貝、単、三百三拾二付
壹俵也、他場所江罷越候而茂、無間違様取計江可申候事、〔28ウ〕

一、当月中糴味入用之実子網、為介抱年行蝦夷人追鮑等不参之者江可申付候
事、

一、出来之上者、実子繩鋪立ニおふし、是迄之通、米成とも、濁酒成と
も、是を可遣事、〔29オ〕

一、当月中、諸番家支末次第二引払可申付候事、

一、夏場所并追鮑取居合之場所、其年柄引払延日ニ而茂、番家見届嚴重
可致候事、〔29ウ〕

一、追鮭取引払之節、後居小家等見届いたし、若心得違之追鮭有是候ハ、早
速運上家江相届可申候事、

一、番家々引払之節、乗廻候三半船、〔30オ〕川ニおゐて手入いたし、春番家廻
之節差支無是様、心掛可致候事、

一、諸番家雇蝦夷人引払之節者、濁酒式盃宛々被下之、〔30ウ〕

六月

一、朔日御詰合様江御礼可申上候事、

朝神々様江御神酒、干糴差上可申候事、

一、当月中糴中焚用之薪、女ノ子人足を以、三半船ニ而相下ケ可〔31オ〕申候
事、

- 一、右船ニ而番人差添可申候事、
- 一、キヨリ網、無油断キヨリ可申候事、
- 一、於漁場ニ、蝦夷人共貸附帳、并番家〔31ウ〕諸品残物帳、帳場江差出し可申候事、

一、イシカリ表江暑氣御窺支配人、前日ニ相越可申候事、

一、御進物御着御届之通

蝦夷人足前段之通〔32オ〕

○32オに付箋あり

「金納付御免御進物等まで入不申候、」

一、蝦夷人別書上其外左之通、

一、運上家漁船書上 式冊

一、二八取御判書上 式冊

一、造船御免判書上 式冊

一、上ヨイチ蝦夷人別書上 式冊

一、下ヨイチ蝦夷人別書上 式冊

一、出生蝦夷人書上 式冊〔32ウ〕

一、病死蝦夷人書上 式冊

✕ 右之通差引致、無間違様相認め、当御詰合様江差上可申候事、

一、当月中鮭場入用之スケ沢山ニ〔33オ〕刈取可申候事、

一、右スケ之儀者、毎年不足候ニ付、鮭場差支ニ相成候間、沢山ニ刈

取、入念干揚、蔵入置可申候事、

一、龜味船頭役之者、川運上家へ〔33ウ〕漁業手配方可為致候事、

但手配等ニ付、蝦夷人共不勝手之者、大勢取入不申候様可致候事、

一、元小家式百

✕ 御家来衆なし

一、柏木皮取女ノ子、繼立番人添差遣し、取揚可申候事、〔34オ〕

一、例年之通、春鮭場所入用之したれ、のま、スケ刈取、用意可申付候事、

一、ヤマウシノ川向ひまで、沖三ヶ村共可申付候事、〔34ウ〕

七月

一、追鮑相帰候上者、別紙儀定書之通取計江可申候事、

一、七日ヲムシヤ之事、

但し〔35オ〕

委細之儀者、別紙ニ有是候通、取扱可申候事、

附タリ、其年柄夏場漁事手配等ニ付、延日ニ茂可有是事、

一、御詰合様江ヲムシヤ御祝儀之御盃、差上可申候事、〔35ウ〕

一、御酒肴見計江〔35マ〕、御吸物、御料理之御膳ニ而、御取扱可申候事、

一、マシケ龜味出稼蝦夷人別いたし、時刻見計江〔35マ〕、番人式人ニ申付、支度

〔36オ〕可為致候事、

一、出稼取究候上者、当御詰合様江御届申上、イシカリ表別紙相認め、御届ニ

前日相越可申上候事、

御進物左之通〔36ウ〕

一、御重役様 黒鮑三百 一夏追鮑之分

一、御徒士様 同式百 御上役様三百

一、御医師様 同式百 御徒士様式百

一、御下役様 同式百 御医師様式百

一、御下来衆 同百宛々 御下役様式百

一、当御詰合様 三百 当御詰合様三百

✕ 御家来衆なし

右之通高嶋、尾樽内無是候、〔37オ〕

○37オに付箋あり

「夏追鮑御進物左之通相成候、

金三朱 御重役様 三朱当御詰合様何角御状御添触等付

式朱宛々御添役様 御医師様 御下役様

ㄨ

当午年方ヲタルナイ御詰所ニ相成候付、改而ヲタルナイ御詰合様ニ

式朱差上申候、

秋味出稼右同断、外ニ増毛御詰合様二者、是まで通明夏御登り之上者、於

当所黒式百宛々差上申候事、

且別紙御届書持参いたし、出帆之節者、運上家方願書之外、当御詰

合様より御添書、マシケ御運上家支配人中江、御状沓封是迄有是候

事、

一、出稼乗船三半乗三艘、諸仕入之品〔37ウ〕是迄之通差遣し可申候事、

一、前日入用之品貸附、其外家内為暇乞、青酒式盃宛々貸附可致候事、

一、出帆之節者、人別致相改、取計江可申候事、

一、出帆後引として、乙名、小使共〔38オ〕青酒式盃宛貸附可致候事、三

半船沓艘二付、濁酒式斗入沓樽宛々、出帆之節積入、差遣し可申候

事、

一、出稼差出し、翌日蝦夷人共男女取集可申候事、

一、糰味漁業中入用之〔38ウ〕

一、筒船搔六拾枚 沓艘之入用

一、三半船搔三拾枚 式艘之入用

一、持夫船同三拾枚 三艘之入用

一、友搔沓艘二付式枚宛々

ㄨ

右之通山入いたし、早速差出し可申候事、

一、糰味中入用之早切、かや等沢山ニ〔39オ〕可為取候事、

但し右雑早切ニ而冬囲可致事、

一、冬中焚用之薪、外割蔵に入置可申候事、

一、当御詰合様御引払之節、支配人ヲシヨロ込御見送り可致候事、

一、御引払之前日ニ、御暇乞之御盃差上可申上候事、

一、御餞別之品、是迄之通別紙ニ有是候事、

一、ヲタスツ御詰合様イシカリ表へ〔39ウ〕御出役御通行之節、大切ニ御取扱可

申上候事、

八月

一、日柄見合、糰味ヲムシヤ可致候事、〔40ウ〕

ヲムシヤ定日、前広ニヲシヨロ網持夷人共、ヲムシヤ網卸兼使之

儀、別紙文面ニ而、ヲシヨロ運上家江態蝦夷人差立可申候事、

一、弁天様糰味漁業中川江〔41オ〕御引越之事、

其節

一、稻荷様 両社共右同断

一、船頭并惣番人中一同、御出向可致候事、太鼓等賑々鋪いたし、前日

方のほり相立可申候事、〔41ウ〕

一、ヲムシヤ定例之儀者、別紙ニ有是候通、

一、赤飯可致候事、

但し別紙之通 小豆式升 糯米沓斗

一、為御神酒青酒沓樽番人中へ被下之、

一、弁天様御宮ニおゐて、賑々鋪御祝儀可致候事、〔42オ〕

一、糰味網引立之節、袋不取揚候内ニ、雑着沓疋成共、自分〱ニ蝦夷人共取

△右三度介抱、忝人ニ付是を遣し
外ニ

附タリ、其日之雜魚被下之、

亦者其日より厚手当被下之、

一、春鮭場介抱之儀者、先例之通可取扱候事、〔48ウ〕

一、穠味鮭千速都合ニ相揃候上者、右千速為振舞御祝儀番人中、并大網起

し網蝦夷人とも御祝ひ有是候、其節取計左之通、

一、御鏡大忝通、台座七寸位、

弁財天様〔49オ〕

一、同中忝通 稻荷様江

一、同 忝通 龍神様へ

△外ニ 忝通 金比羅様へ

一、小忝通つ、

一、神明様 一、神明様へ

一、金比羅様 一、惣神社様へ

一、龍神様 一、金比羅様へ

一、仏様 一、仏様へ

△川運上家分 △モイレ運上家

外ニ〔49ウ〕

一、中忝重宛々

川尻網ヤマウシ網

テタリヒラ網川上網

△四ヶ所神々様分

一、青酒忝樽、糯白米忝斗五升、小豆忝升添、

〔遣〕番人中一同江被下之、

一、青酒忝人ニ付濁酒忝人付〔50オ〕

一、ヘカツ、女ノ子忝人ニ付被下物、貸附之儀者、前分之通り取計江可
申候事、

一、弁財天様御鏡、翌日大網船頭役一同頂戴可致候事、

一、御神酒之儀者、弁天杜おゐて〔50ウ〕御酒着沢山ニ而、賑々しく御祝

儀可致候事、

一、穠味積入之節者、弁財江加勢為致、早速弁財可差登候事、

一、大撰塩鮭拾尺入式箱

右仕立方左之通〔51オ〕

献上

鮭拾尺入一

浜御家舗ヨイチ
川運上家

式箱

緞七部板是を拵へ

中間繩ニ而三所結

立繩付

其外別紙之通送り物有是候、

定例之通入念箇木札吟味之事、

一、穠味漁業中之三半船、持夫船等之儀者、〔51ウ〕其日〱手入いたし、鱈

搔、アカ取、子リハ等迄支末いたし、翌朝差支無是様可申付候事、

一、穠味中相持之鱈搔之儀者、決し而妄ニいたし間鋪様、嚴重ニ可申付

候事、〔52オ〕

一、当月中諸番家蔵々手入ニ付、入用之茅等浮合無是候ハ、女ノ子ニて沢山

ニ無油断刈取可申付候事、

一、川口浮合無是候ハ、ヌウチ辺刈取可申付候事、

但し番人添〔52ウ〕

一、例年之通上川漁場居小家手入ニ、番人蝦夷人差遣し可申候事、

一、雇夷人見計江上川漁業ニ代々差登可申付候事、

一、マシケ出稼帰郷之節者先例之〔53オ〕之通産ケ鮭テツヒラ請取之、改メ而小

使并小使役之者、惣蝦夷人乗組之船、老艘ニ付濁酒式斗入老樽宛々被下之、

一、老流人数を以諸品相改請取之、三半船手入いたし、困置〔53ウ〕可申候事、

一、青酒式盃宛々老人ニ付、貸附可致候事、

一、出稼之者一流休日申付、大網雇之者上川江差登、出稼之者代々大

網ニテカンナイカシニ可致候事、

一、出稼之蝦夷人割合を以春鮭場〔54オ〕入用之搔取番人添、当月中山取可申付候事、

一、友搔拾挺上之処

一、三半船搔式百枚

一、持夫船同三拾枚

一、艫 三拾五挺

×〔54ウ〕

右之通無間違伐出し、商売筋差支無是様、手配可致候事、

一、艫之儀者、糰味漁場より雇夷人を以番人添、日帰りニ伐出し可申候

事、〔55オ〕

一、川上起し網見計江之上取揚可申付候事、

一、ヲシヨロ場所より木品当山之内方伐出し度願出候ハ、聞済可申候事、

〔55ウ〕

一、川上漁業中之事候、若我俣之致方候ハ、嚴重に可取計候事、

一、糰味漁業中ヲシヨロ場所網持之蝦夷人江、浮合之節番人〔56オ〕差立、漁業見届ニ可差遣候事、

一、同所ニおゐて、漁事鮭不残請取、勘定之節代料差遣し可申候事、

但し毎年ラムシヤ之節方取替貸附有是候、〔56ウ〕

十月

一 当月中蔵々諸品残物等相調子可申候事、〔57オ〕

一 大網引払、直様勘定造酒可致候事、

一、造米是迄三斗入三拾五俵

是造造酒高

一、糶四斗入拾五俵勘定入用、〔57ウ〕

但し其年寄可申候、糶沢山ニ用意可致候事、

一、当月中三ヶ所起し網引払候ハ、濁酒人数見計江被下之、

尤〔58オ〕

青酒式盃宛々貸附可致候事、但し濁酒式盃宛々被下是、

一、大網引払之節、組合ニ老所ニ濁酒式斗入老樽宛々被下之、尤大勢部家式

樽、

但し青酒式盃宛貸附、〔58ウ〕ヘカツ、女ノ子青酒式盃宛々貸附可

致候事、

一、勘定造酒出来迄之内、上川江飯料取ニ蝦夷人不残差登可申付事、

一、勘定之節、其村々順番に〔59オ〕取計江、飯料沢山ニ出情可為致候事、

一、例年之通鮭網入用之桴木等差出し候様、老流江可申付候事、

一、寅糰老人ニ付五拾枚宛々申付候事、〔59ウ〕

一、春鮭場入用之諸品、例年之通可申付候事、

一、苦類、したれ類

一、艫手取

一、ヤンケフ〔60オ〕

一、弁天様川ちモイレ江御引越可申候事、

一、金比羅様 右同断

一、稻荷様 右同断

右両社弁財天様御宮江仮殿(60ウ)

其節

一、御鏡大寄通

弁天様

一、中寄通宛々

稻荷様

金比羅様

権現様

外二

一、小四通

モイレ運上家

仏様共(61オ)

一、川運上家右同断

但し引払不申候内ニ弁財天様御引越

一、糯白米七升

一、当月中支配人婦郷之節者、左之通可取計候事、

一、為暇乞与越年中江(61ウ)青酒壺樽被下之、

一、乙名小使共江青酒式升被下之、

但し後行候へ共願出候ハ、忝人ニ付式盃宛々貸附可致候事、

一、御店表江書出し帳面左之通、(62オ)

一、金銭請払帳壱冊 一、鮭場仕籠帳壱冊

一、番人貸附帳壱冊 一、番家々出荷物控壱冊

一、蔵々諸品残物帳壱冊 一、番家々船々造船控壱冊

一、諸品注文帳壱冊 一、土産物積登控壱冊

一、番家諸品残物帳壱冊 一、仕込物請取控壱冊

一、御軽物書上控壱冊 一、二八役鮭請取帳壱冊

一、御通行御賄控壱冊 一、越年 婦郷番人調子控壱冊(62ウ)

一、糴味諸仕込帳壱冊

又

右之通前日相認メ持参ニ而、支配人婦郷可致候事、

一、千年川适当所ち蝦夷人共召連相登可申候事、

一、蝦夷人相帰之節、為手当与(63オ)

○63オに付箋あり

「金納付相越御届御免ニ相成候事、」

一、支配人婦郷之節者、イシカリ表為御土産与、左之通持参可致候事、

一、御重役様 式百五拾

一、御下役衆中様 式百宛々

一、御下家来衆 無御座候

一、元小家式百(63ウ)

一、当月中水戸不残手入いたし、冬中手入不致候様可致候事、

一、運上家屋根氷むり無是様、是又手入可致候事、

一、川運上家引払之節者、何品成共(64オ)妄不致諸品入念残り物いたし、且鱸

搔并古綱成共、帳面ニ相印置、翌年之商売筋手都合宜可心掛候事、

一、運上家蔵々雇小家まで(64ウ)冬困等人念可致候事、

一、上川より鮭積来候ハ、濁酒式盃宛々被下之、

一、唐鮭蝦夷人江割合いたし、相預、干揚次第ニ請取之、右為手当

与米式盃宛々被下之、(65オ)

一、他場所ち川入之願申来候而茂、決し而相成不申候事、

一、ヲシヨロ網持蝦夷人とも願出候而茂不相成候事、(65ウ)

一、廿日例年之通蛭子講賑々鋪相祝ひ可申候事、

- 一、蛭子様掛物 御肴鮭式尺
- 御神酒

御膳

白飯 平鮭かまほこ

汁 坪 皿鮭切り(66才)

右祝ひ二付、為御神酒(樽)青酒壺樽被下之、

一、乙名小使共江、青酒壺升、濁酒式升被下之、

一、キヨリ網無油断、昼夜共キヨリ(66才)可申付候事、

一、鮒場手配向支事之儀者、都而昼夜共無油断可致候事、

但十日二一日之休息いたし、(67才)其節者、運上家煤払可為致候

事、

一、蔵々細工場等右同断

十一月

一、勘定之事、

一、イシカリ表江寒氣御窺二前日差立可申付候事、

一、御進物左之通(68才)

一、御重役様 黒鮑三百

一、御徒士様 同式百五拾

一、御医師様 右同断

一、御下役様 右同断

一、御詰合様 右同断式百宛

一、御家来衆 御忝人二付百宛々

元小家式百(68才)

右之通差上可申候事、人足蝦夷人之儀者、年頭之通イシカリ表江罷越候節者、役蝦夷人召連可申候事、

一、当月勘定之儀候間、人足之者急キ前日ニ勘定可致候事、(69才)

○69才に付箋あり

「金納付御免相成候、」

一、糶味積入船書上

一、材木伐出し願書上

一、困荷物書上

但

右三冊之を持參可致候事、尤支配人婦郷之節者、其時差上可申候事茂有

是、(69才)

一、勘定前日ニ、例年之通鮒場入用之早切、薪等、且運上家薪木共、蝦夷人別

いたし、割合を以差出し様可申付候事、(候次)

但寅年十一月定左之通、(70才)

一、釜有是候番家々三拾鋪用意之薪木也、若春中右焚木焚立不申候様、

漁前二右之外ニ式拾鋪増焚木心当いたし可申候事、定是を(70才)

一、早切沓ヶ所式百本宛々年々たし、早切可致候事、

右二付

寅十一月薪木六鋪并早切楸二而四拾本宛々、忝人二付伐出し可申候

段申付候、依之伐出し之上相改之を請取、其(71才)時無預代料相渡

し可申定、

一、買入直段儀定別紙ニ有是候、嚴重ニ取計江、決し而妄ニ取扱間鋪

候、(71才)

○71才に付箋あり

「天保四年己十一月

早切三拾本 組合いたし候、
薪木五敷

一、蝦夷挽引并諸材木伐出し、蝦夷人共其年々薪〔貼紙〕「木高」割合之分丈手当等是を可差遣候事、

一、年行蝦夷人勘定後、為介抱〔貼紙〕「種味中人用之実子網、見計ニ実子繩抱枚貫目改差遣し可申候事、

一、出来之節者、別紙有是候通、米成濁酒成望之品差遣し可申候事、

〔72ウ〕

一、勘定相済一同休息、且イノミ酒相済候上者、割合之薪木早切可申付候事、

一、山入之蝦夷人別割合申付、山入〔73オ〕可致候事、

一、鮭場手配向ニ付諸人足申付候ハ、双方支事差支無様取計江可申候事、

一、薪木早切伐出し不申蝦夷人共、〔73ウ〕運上家江呼寄せ、諸支事可

為致候事、

一、御軽物嚴重ニ可申付候事、

十二月

一、当月中無油断鮭場手配向〔74オ〕取支舞可致候事、

但し其年ニ寄、年内中鮭場所江相廻し可申候年柄茂有是候、

一、五日室蛭子様江御神酒差〔74ウ〕上可申候事、

一、御シトキ拵ひ右同断、

一、九日大黒尊天様御年越ニ付、御神酒差上可申候事、〔75オ〕

一、十日稻荷様御年越ニ付、小豆飯差上可申候事、

一、金比羅様江右同断

一、稻荷様江別段ニ為御肴与鮭壹尺差上可申候事、〔75ウ〕

一、十二日山ノ神様御年越ニ付、御神酒差上可申候事、

一、御鏡正月中〔統〕流

神々様江相備可申候事、

一、廿一日例年之通煤払之事、〔76オ〕

一、煤払為御祝儀与青酒壹樽被下之、

一、廿五日餅搗之事、

一、餅白米三斗入三俵

前日支度可致候事、〔76ウ〕

一、白米三斗入三俵

但し搗返し餅二候、

前日ニ支度可申候事、

一、御備餅之儀者、別紙之通無間違可申付候事、

御神酒壹樽被下之、〔77オ〕

但し廿七日、廿八日年越御神酒とも、

一、餅搗御祝儀として番人中一流江汁粉餅被下之、〔統〕

一、廿八日年替御神酒差上可申候事、〔77ウ〕

一、今日門松相建可申候事、

一、例年之通番人中之内壹人年男申付、神々様等為取扱可申候事、〔78オ〕

但シ年男為御祝儀与、半紙式状、手掛壹筋、扇子代として銭式百文

被下之、

一、晦日年越ニ付、神々様昼夜共〔78ウ〕御神酒御灯明差上可申候事、

但し年越ニ付、為御神酒青酒壹樽被下之、〔統〕

一、節分神々様ニ御神酒、〔79オ〕白豆黒キ位へいり立壹升舛二入、神明様江差

上可申候事、

但し為御神酒青酒三升被下之、〔統〕

外追書別紙有是候、〔79ウ〕

○80オに付箋あり

「例年之通ヲシヨロ運上家江、年末為御祝儀与、あら卷五尺、態々差遣シ可

[B9] 上下与市御場所年中日記追書

申候事、

右者上下ヨイチ御場所年中取扱等荒増書認置候間、支配人帰郷之節ハ跡役之者江引継申候間、〔80オ〕大切ニ相守取計江可致者也、
文政十三年寅十一月改之

上下ヨイチ

運上家〔80ウ〕

○半丁白紙〔81オ〕

○半丁白紙・裏表紙〔81ウ〕

○表紙〔1オ〕

〔外題〕

文政十三年庚寅十一月改之

上下与市御場所年中日記追書

運上家

○半丁白紙〔1ウ〕

追加

一、ヨイチ御場所境杭之事、

一、ヨイチヲシヨロフンコへ崎境之事、

但し当所道法壹里、〔2オ〕

一、ヨイチヲヲシヨロ道道法壹里半、

一、ヨイチフルヒラチヤラチナイ滝境之事、

但し当所フルヒラ道道法四里、〔2ウ〕

一、ヨイチイワナイルウチシ境杭之事、

但山道当所同所道道法五里廿九丁六間也、

一、通行蝦夷人足継立之事、

一、諸通行下り之節者、〔3オ〕

フルヒラ同所人足ニテヨイチ追継来、夫よりヨイチ人足ニ而ヲシヨロまで継送り候事、

一、同断登之節者、ヲシヨロより同所人足ニ而ヨイチ追〔4ウ〕継来り

候、ヨイチよりフルヒラ迄継送候事、

一、通行蝦夷人足賃錢御定之事、

式

一、蝦夷人足尅人ニ付尅里 拾文宛々〔4オ〕

一、御役人様御通行之節、半賃錢請取可申候事、

一、通行賄代御定之事、

一、御役人様御通行之節者、〔4ウ〕

一、御上下共一日錢七拾五文宛々請取可申候事、

一、御場所御詰合様一日錢五拾五文宛々請取可申候事、

一、御着より御引払迄相調子書上いたし、御城下表江〔5オ〕書出し是可申候事、

一、他場所番人、其外一泊り錢百七拾五文宛々請取可申候事、

但し人足頼合ニ候ハ、前段之通取計江可申候事、〔5ウ〕

一、御役人様御通行之節、御出迎送り之事、

一、御場所江御見廻有是候節、役蝦夷人召連、支配人直ニイシカリ迄前

日相越〔6オ〕可申事、

但し其節御進物之儀者、仕来之通取計可申候事、

一、御下り出迎之儀者、是迄之通申合置、境ユウナイ五番人頭、其村役

蝦夷人同道ニ蝦船ニて、当運上家迄、〔6ウ〕

一、下ヨイチテタリ村、右同断、

一、当浜中一同申合、是迄之通シリハ崎迄、三半船式艘ニ而引船之儀、

浜名主江前日ニ申付、差支無是様可取計候事、

一、支配人、役蝦夷人同道ニて〔7オ〕夷船乗込、ハマ中沖合迄御出迎申

上、夫々急キ相帰り、浜ニおゐて通詞同道ニ御出迎可申候事、

御通行之節者、大切ニ取扱可申候事、〔7ウ〕

一、当御場所之儀者、御昼附御座候得共、近年御泊り計相成候間、右之

段相心得、前日尅流申合可致置候事、

一、御出立之節者、御用御荷物勿論、何品共失念無是様〔8オ〕いたし、

支配人ヲシヨロ迄役蝦夷人同道ニて御見送り可申上候事、

一、御登御役人様イシカリ御詰江御出迎、川運上家沖合迄支配人、蝦夷

同道〔8ウ〕ニ而前分之通、

一、フルヒラ迄右同断、

但し出迎船引船入不申候事、

一、御用状之儀者、是迄之通差留置間鋪、昼夜成とも継立可申候事、〔9オ〕

一、御太切之御用状勿論、都而御上様御役人様方御用状、御状成共、蝦

夷人江継送間鋪候、番人差立可申候事、

一、御軽物之儀者、被仰付候通〔9ウ〕大切ニ相守、年々出増ニ相成候様、蝦夷人共江申付、買入代者御場所ニおゐて夫々代料相渡し、右代附年々三月中

取調子之上者、御詰合様ニ差出し、御城下表〔10オ〕請負人江御渡し相成可申候事、

一、御用鯨鯨式斗入三拾樽宛々、例年之通入念、出来候様可申付事、

一、シリハ崎山ニ有是候烽火之儀、〔10ウ〕幅三間、横三間、高尅丈、年々古来

仕来之通、当御場所ニ働參候大工、木挽ニ可申付候事、

右者御場所年行司追加〔11オ〕前書之通相守可申候、以上、

文政十三年
寅十一月改之

上ヨイチ
運上家〔11ウ〕

○半丁白紙〔12オ〕

○半丁白紙・裏表紙〔12ウ〕

史料解題

〔B1〕ヨイチ場所引渡一件

本資料は、ヨイチ場所の支配人勘五郎からイシカリ詰所へ提出された数種の書上報告書類及び一通の願書写をまとめ、「ヨイチ場所引渡一件」という表題の一つの書類に仕立てたものである。書類の構造は「表2」のとおりであり、①②の一二の文書が収録される。

各文書の差出人である勘五郎は、文政七年（一八二四）までヨイチ場所請負人を務めた柏屋藤野家の関係者と考えられる①。

「場所引渡」とは、幕府の蝦夷地直轄、あるいは松前藩の復領など支配・管理者の交替時に、それまでの支配のあり方、戸口、官衛の所在地と数など統治に必要な基本的事項を、前任者から引き継ぐことである。本資料の各文書の年代は、いずれも「午二月」付けであるが、北海道立図書館所蔵の林家文書のかなに、「支配人勘五郎」が作成した「文政五年二月」の年記のある『ヨイチ御場所引渡一件』②があり、本資料も同年付けと考えられる。すなわち、本資料で言う「場所引渡」とは、文政四年（一八二二）十二月七日付けの幕府の松前藩復領決定を受け、再び蝦夷地の支配・管理者に返り咲いた松前藩の、幕府からの引き継ぎのことである。ただし、「引渡」と言っても、松前藩士が幕吏から直接引き継ぐわけではなく、蝦夷地の各場所において、現場の実情に熟知した請負人（の関係者）からそれぞれ報告を受けるのである。したがって本資料は、松前藩がイシカリに置いた勤番所（詰所）③に対し、ヨイチ場所請負人柏屋藤野家の現地監督者である支配人勘五郎が報告した書類ということになる。ただし、本資料の筆跡とよく酷似した史料④があることから推測すると、本資料は後年の写本と考えられる。

一方、『余市町史 第一巻・資料編』には、『ヨイチ御場所引渡一件』という題の史料が翻刻掲載されている⑤。これは、道立図書館所蔵の『ヨイチ御場所引渡一件』に酷似している⑥。本資料と道立図書館本を比較すると、本

資料の①②の文書のうち、道立図書館本には⑩と⑫の記載がなく、⑦と⑪は末尾の内訳集約部分の記載しかない。また、道立図書館本の各文書には、文書末尾の「右之通相違無御座候、以上」や、日付、差出人、宛所の記載がない。したがって、道立図書館本よりも本資料の方が提出原本に忠実であり、かつ情報量が豊富であると言える。

本資料は、後年の写本とは言え、竹屋林家の請負以前、かつ第一次幕府直轄時代末期のヨイチ場所の概況を示唆するものである。本資料の内容と類似した記述は、後年に作成された林家文書などにもいくつか見られる⑦。こうした史料と比較検討することで、ヨイチ場所の経営のさまざまなしくみや、その移り変わりを今後明らかにすることができるだろう。

〔B2〕ヲシヨロ場所引渡一件

本資料は、オシヨロ（忍路）場所の支配人勘六からイシカリ詰所へ提出された数種の書上報告書類をまとめ、「ヲシヨロ場所引渡一件」という表題の一つの書類に仕立てたものである。書類の構造は「表3」のとおりであり、①⑦の七の文書が収録される。

オシヨロ場所は、隣接するタカシマ場所とともに、いわゆる近江商人の西川伝右衛門家（住吉屋）が請負人を務めた場所である。文政年間ごろの西川家のオシヨロ場所支配人として「川招屋勘六」の名が確認できることから⑧、本資料の「支配人勘六」とは、西川家配下の支配人と考えられる。西川家の関係文書が林梅家資料に含まれる理由は未詳である。今後の研究が俟たれる。なお、本資料の筆跡は林梅家資料B1と酷似しており、これもB1同様、後年の写本と考えられる。

本資料と林梅家資料B1の文書の体裁・配列は近似している。「表2」の「B2」の列は、構成の異なる比較である。これによると、B2には、B1の⑥⑦⑨⑩⑫の五つの文書に対応する記載がないことがわかる。また、B2の⑤の題は「蝦夷人共土産物買入直段并運上家雇夷人給代手当仕来」であり、B1

表2 B1ヨイチ場所引渡一件の構造

番号	文書名	丁番表裏	年代	差出	宛所	道立図書館本	B2
ヨイチ御場所年中取扱向書上							
①	非常御備向心得方書上	3オ 3ウ	午2月	勘五郎 (ヨイチ御場所支配人)	イシカリ御詰所	○	①
②	鰥寡孤独并奇特之者病夷手当方仕来書上	4オ 5ウ	午2月	勘五郎 (ヨイチ御場所支配人)	イシカリ御詰所	○	②
③	覚〔塩鯨上納、蝦夷人償取置、場所境の件〕	6オ 6ウ	午2月	勘五郎 (ヨイチ御場所支配人)	イシカリ御詰所	○	③
④	漁業手配仕来書上	7オ 10ウ	午2月	勘五郎 (ヨイチ御場所支配人)	イシカリ御詰所	○	④
⑤	蝦夷人共々産物買入直段并運上家雇夷人給代仕来	11オ 12オ	午2月	勘五郎 (ヨイチ御場所支配人)	イシカリ御詰所	○	⑤
⑥	ヲムシヤ之節蝦夷人共江差遣候品并蝦夷人役儀申渡候節差遣候品書上	13オ 14ウ	午2月	勘五郎 (ヨイチ御場所支配人)	イシカリ御詰所	○	×
⑦	鯡二八取之者名前并場所地名書上	15オ 23オ	午2月	勘五郎 (ヨイチ御場所支配人)	イシカリ御詰所	△ (集約)	×
⑧	去巳年出荷物并困荷物共書上	24オ 25ウ	午2月	勘五郎 (ヨイチ御場所支配人)	イシカリ御詰所	○	⑥
⑨	覚〔船数書上〕	26オ 27オ	午2月	勘五郎 (ヨイチ御場所支配人)	イシカリ御詰所	○	×
⑩	覚〔支配人番人等名前書上〕	28オ 29ウ	午2月	勘五郎 (ヨイチ御場所支配人)	イシカリ御詰所	×	×
⑪	上下ヨイチ御場所蝦夷人家数人別書上	30オ 31オ	午2月	勘五郎 (ヨイチ御場所支配人)	イシカリ御詰所	△ (集約)	⑦
ヨイチ場所願書写							
⑫	乍恐以書附奉願上候〔唐津内町幸吉通詞免判の件〕	33オ 34オ	午2月	勘五郎 (ヨイチ御場所支配人)	イシカリ御詰所	×	×

表3 B2ヲシヨロ場所引渡一件の構造

番号	文書名	丁番表裏	年代	差出	宛所
ヲシヨロ御場所年中取扱向書上					
①	非常御備向心得方書上	3オ 3ウ	午2月	勘六 (ヲシヨロ御場所支配人)	イシカリ御詰所
②	鰥寡孤独并奇特之者病夷手当方仕来書上	4オ 6オ	午2月	勘六 (ヲシヨロ御場所支配人)	イシカリ御詰所
③	覚〔塩鯨上納、蝦夷人償取置、場所境の件〕	7オ 8オ	午2月	勘六 (ヲシヨロ御場所支配人)	イシカリ御詰所
④	漁業手配仕来書上	9オ 11オ	午2月	勘六 (ヲシヨロ御場所支配人)	イシカリ御詰所
⑤	蝦夷人共々産物買入直段并運上家雇夷人給代手当仕来	11オ 13ウ	午2月	勘六 (ヲシヨロ御場所支配人)	イシカリ御詰所
⑥	去巳年出荷物并困荷物共書上	14オ 15オ	午2月	勘六 (ヲシヨロ御場所支配人)	イシカリ御詰所
⑦	ヲシヨロ御場所蝦夷人家数人別書上	16オ 18オ	午2月	勘六 (ヲシヨロ御場所支配人)	イシカリ御詰所

の⑤には「手当」の語がない。

本資料の年代「午二月」は、B1と同様に文政五年（一八二二）と考えられ、松前藩のイシカリ勤番（詰所）に対し、オシヨロ場所支配人勘六が報告した書類となる。「ヨイチ場所引渡一件」（B1）と「ヲシヨロ場所引渡一件」（B2）の比較検討などにより、場所請負制下の場所経営のしくみの共通点及び相違点の考究も可能であろう。

〔B3〕上下ヨイチ御場所漁業手配并蝦夷人共取扱方日記

本資料は、ヨイチ場所の「漁業手配」と「蝦夷人共」の「取扱方」について、ヨイチ運上家が作成した文政五年（一八二二）付けの書類である。一七の簡条書きで構成される。

第一条は、オムシヤ^⑨の「申渡」の際のアイヌへの下され物（ここでは酒、タバコ）について、役付き、無役などの場合のそれぞれの支給分量を記す。また、オムシヤは一年に三回行い、春の番船^⑩到着時と、秋味漁開始前（秋オムシヤ）に開催し、夏オムシヤを重視すると記す。林梅家資料B8には、七月にオムシヤ（夏オムシヤ）、八月に秋味オムシヤ執行の記述がある。文政五年のヨイチ場所では、春の番船到着時の儀礼もオムシヤと呼び、三回開催していたことを窺える。

第二条は、アイヌの「役義申渡」、あるいは「役替」の際の下され物についての記述である。

第三条は、運上家春漁の際の船や漁具などについての記述である。

第四条は、秋味漁（サケ漁）出高の運上家とアイヌの配分や差引勘定のしくみについての記述である。出高の四割が運上家、六割がアイヌの「荷物」（取り分）となり、漁事中の「入用品」（前貸しとして運上家がアイヌへ貸し与えた品）の代料を差し引き、残りはサケ四束Ⅱ造米一俵で運上家の買い上げとなるしくみであったと記す。また、春のニシン漁は、アイヌを雇用して行い、彼らに定額の給料を支給していたことも記す。

第五条は、「蝦夷人漁勘定」についての記述である。秋のサケ漁をのぞく春・夏の漁は、各出産物を定値段によって運上家が買い上げる「自分商売」（自分稼ぎ）の方式であったことが窺える。

第六条は、ヨイチ場所の「御役塩数子」の献上についての記述である。

第七・九条は、「鯡二八取」^⑪の出稼ぎについての記述である。

第十条は、「大工」「木挽」の出稼ぎについての記述である。

第十一条は、病気のアイヌへの介抱や煎薬についての記述である。

第十二条は、鰥寡孤独（独り身）のアイヌへの手当についての記述である。

第十三条は、高齢者、幼年者への手当・介抱についての記述である。

第十四条はアイヌの所持する「漁舟」数、十五条はアイヌの運上家からの借財、十六条は「囲荷物」（備蓄品）についての記述である。十四条にはその具体的な記載はなく、十五・十六条は「別紙二差上」などと記す。「別紙」に相当するものは本資料中には見当たらない^⑫。

第十七条は、アイヌから番人への「申過」や「手違」（ともに過失・罪の意）の際に「償」を取ることを記す^⑬。

『余市町史 第一巻・資料編一』は、本資料と酷似した「文政五年午上下ヨイチ御場所漁業手配并蝦夷人共取扱方日記」を翻刻紹介する^⑭。また同書は、フルヒラ場所の「漁業手配」と「蝦夷人共」の「取扱方」を記載した「フルヒラ御場所年中取扱手続」も翻刻紹介する^⑮。

本資料は文政五年付けであり、作成者はヨイチ運上家なので、柏屋請負時代のものとなる。アイヌの「取扱方」については、天保一二年（一八四一）六月付けの竹屋林家請負時代の「蝦夷人取扱方書上」^⑯があるので、それらと比較することで、場所請負制下における運上家のアイヌ「取扱方」の変遷についての探究も可能である。

〔B4〕〔ヨイチ場所仕込品直段等書上帳綴〕

本資料は、堅帳五冊をこよりで合綴したものである。五冊の基本情報は「表

1」のとおりである。

(一) 諸品台附帳は、表紙に「文政七年申十二月」とある。内容は、①各物品の値段の書上(2オ〜5オ)、②「木挽蝦夷人挽口」(6オ)、③「御軽物直段附」(7オ〜9オ)、④「蝦夷細工もの直段」(9ウ〜11オ)である。①は運上家のアイヌ等への各物品の売渡値段、②は木挽きのアイヌへの手間賃、③④はアイヌからの各物品の買入値段と考えられる。差出・作成者の記載はないが、文政七年付けであること、及び同じ合綴資料の(二)が柏屋から竹屋への書類であることから、本資料も柏屋から竹屋への書類とするのが妥当である。ヨイチ場所の前請負人から新請負人への引き継ぎに関する書類と判断しておきたい。

(二) 定例直段附調子は、「酉六月」(文政八年六月)付けの柏屋勘五郎から竹屋宛の書類である。内容は、ヨイチ場所のいろいろな仕来りに関する書上(2オ〜5オ)、「諸品代付」(シリハ崎烽火台、場所境などを含む)(5ウ〜11ウ)、「イチボ酒」¹⁷⁾(12オ〜12ウ)などである。柏屋藤野家から竹屋林家への場所引き継ぎに関する書類である。

(三) ヨイチ御場所残り物引請帳辛印を請取諸品書、及び(四)ヨ市御場所古道具直段附辛印を請取諸品代附書は、柏屋勘五郎・市兵衛宛の書類である。年代は(三)が「酉六月」、(四)が「酉八月」付けである。内容はともに種々の物品の名前と数量の書上である。(三)は新品八九品、(四)は古道具九七〜九九品と置蔵・障子などである。(四)は物品ごとに値段の記載がある。表題から内容を察するに、(三)は柏屋請負時代の「残り物」(使用していない新品の物)、(四)は「古道具」(使い古しの物)を、新請負人である竹屋林家が引き受け、買い取った物品リストとなる。本資料は、竹屋林家がそれら物品をヨイチで現物確認し、柏屋へ提出した請書の控えと考えられる。竹屋は場所表(ヨイチ場所)で現物を引き取り、柏屋へしかるべき値段を払っていることが記され、(四)の末尾には具体的な金額の記載もある。

(五) 与市御場所帳場諸用取扱方振合書は、帳場¹⁸⁾における取り扱い事務

の仕方(帳簿の記入法)を細かく記したものである。年代は「文政八年酉八月」であり、作成者は表紙に「ヨイチ運上家」とある。末尾に「此外之儀者、万事御支配人江聞合之上、取斗ひ可申事」とあることから察するに、ヨイチ場所の新請負人である竹屋林家が作成し、帳場へ取扱方法を指示したものと考えられる。

以上の考察をまとめると、本資料五冊一綴には、全体として、さまざまな物品の種類、数量、値段やその在庫状況、支給場面、帳簿への記入法が書かれてあると言える。すなわち、ヨイチ運上家の物品管理を司る帳場で保管する書類を一纏めにしたものであると言える。

〔B5〕ヨイチ御場所仕入物書上扣帳

本資料は、ヨイチ場所の仕入れ品の種類と数量を、入津船ごとに記録した書類である。ほぼ同様の記載内容の縦帳が二冊合綴されている。(一)の表題には「扣帳」とあり、(二)の表題には「扣帳」の文字はない。ともに末尾に作成者として「ヨイチ場所支配人長三郎」の名が記載されている。宛所の記載はないが、末尾の「右者酉年ヨイチ御場所江仕入物書面之通御座候」の表現から察するに、どこかへ提出した書類の控えと推察される。

入津船は、権現丸、長栄丸、松吉丸、山王丸、幸徳丸、勢立丸、幸吉丸、ヒクニ船(ビクニ場所の下り船)、永寿丸、義徳丸の一〇船の名が見える。

文政八年(一八二五)は、竹屋林家のヨイチ場所請負初年である。本資料は、請負開始時の竹屋林家が場所経営に必要とした物品の詳細を知ることのできる資料である。

なお「支配人長三郎」の名は、竹屋林家のアッケシ場所請負時代の文書にも見られる¹⁹⁾。

〔B6〕申上候事

本資料は、ヨツカイホたちアイヌ五名から運上家宛の文政八年(一八二五)

八月三日付けの詫び状・誓約書である。七月より新請負人となり、格別の手当となつたにも関わらず、番人や支配人に対し、酒に酔つていろいろと我が儘を述べたことへの詫びである。後半部分には、他の乙名・小使（役付きのアイヌ）たちよりいろいろと聞いたところ、思いのほか運上家にて喧嘩口論を行い、しかも（他の）アイヌたちへも無理な言いがかりのようなことを（支配人や番人へ）吹っ掛けるよう（働きかけていたことを）（他の）アイヌたちから聞き、（自らの行いに對して）誠に後悔しており、今後は慎み、あれこれ主張しないとすることを記す。

差出人のアイヌ五名の名前の下には爪印²⁰が押されている。この文書は、ヲツカイホたちが自ら書いたわけではなく、運上家の関係者が執筆作成し、ヲツカイホたちに爪印を押させたとの解釈が妥当であろう²¹。

文政五年（一八二二）付けの林梅家資料B1には、文書の差出人である五名についての記載がある。それによると、イコンノミは下ヨイチモイレ住居の惣乙名、モトとシイホロは上ヨイチ川辺住居の小使、イナヲリは上ヨイチ領川辺に住居の脇乙名、ヲツカイホは下ヨイチ領モイレ住居とされる。この記述に従えば、本資料のヲツカイホを除く四名は役付きとなる²²。差出人筆頭のヲツカイホには「此主」とあり、次行のイコンノミとの間が半行ほど空いていることから、泥酔して騒ぎを起こした中心人物²³「此主」はヲツカイホであり、イコンノミたち四名の役付き者は連署人かつヲツカイホに加担した者たちであるとの解釈が可能である²⁴。

本資料の年代を考えると、この酩酊事件は、竹屋林家がヨイチ場所を七月に請け負つてから、一か月も経たないうちに発生していることがわかる。泥酔しての運上家関係者への罵倒は、柏屋時代の運上家による場所経営や取り扱いの不当に對する不満の鬱積が原因だったのかもしれない。または、新たにヨイチ場所へやってきた竹屋林家配下の支配人・番人への何らかの不満が原因だったのかもしれない。日頃の不満の蓄積、あるいは待遇改善などが背景にあるとは言え、竹屋林家（の関係者）が新たにヨイチへ来て早々の事件であることに

は、やはり留意する必要がある。すなわち、着任早々の竹屋林家へのアイヌたちによる先制交渉といった側面でのこの事件を捉え、それを不慮に引き起こした泥酔こそを最大の要因と見るべきである²⁵。

事件の原因よりもむしろ注目すべきは、事件の首謀者たちへ詫び状（誓約書）提出を迫つた運上家の事後対応である。請負初年の竹屋林家にとって、今後の場所経営、すなわちヨイチのアイヌの人びとと上手に付き合ひ、組織をまとめ、円滑な運営を遂行するには、最初の引き締めが肝要である。今後の再発防止のため、運上家がヲツカイホたちから誓約書を一筆取つたことを考慮する必要があるのである。少々過剰とも言える運上家の対応は、「此度御答被下、誠ニ以驚入申候」の文言によく現れている。酒の席での悶着は、普通は咎めを下すほどのことではないからである。

〔B7〕御場所諸品直段附帳

本資料は、「上ミ下ヨイチ運上家」で使用された各種物品などの値段帳である。内容からして、ヨイチ場所のアイヌとの取り引きに使用した基礎台帳と考えられる。各種物品値段の記載のほか、「春番家雇給代」、「秋味雇給代」、「年中諸人足介抱」など、アイヌへの給料や介抱（手当）に関する記述も合んでいる。29ウに「文政十三年庚寅十一月写し」とあるので、文政一三年（一八三〇）に原本の値段帳を写し、作成・成立したものである。なお、異筆で墨書された付箋の29オへの貼付や、30オの朱筆の追記などから判断すれば、本資料は、文政一三年以降に運上家の帳場などにおいて実際に使用された値段帳と考えられる。

記載内容は、①各種軽物²⁶値段（「御軽物御定直段附」、3オ〜4ウ）、②漁勘定値段（5オ〜10ウ）、③雇給代・介抱（11オ〜17ウ）、④各種物品値段（「払直段書」、18オ〜29オ）の四つに大別できる。①はアイヌが運上家へ納めた軽物（狩猟生産物）の運上家における買取価格であり、②はアイヌの「自分売」（自分稼）、すなわち運上家の雇用によらないアイヌの自主・自

営的な漁業や採集(その加工を含む)活動による生産物の運上家における買取価格である。③は運上家が組織的・主体的に行う漁場労働や山仕事・飛脚などの仕事に対して従事した際の給料や手当、すなわち労働対償である。①②は物品の価格であり、③は人的資源への報酬である。④は運上家が本州などからヨイチへ仕入れ、アイヌへ売り渡す各種物品の価格である。①③はアイヌの収入(持ち分)に関するものであるのに対し、④はその収入の支払い(換品)に関する価格の書き上げとなる。ヨイチアイヌは、軽物上納、自分商売、運上家が組織する労働への従事、の三つの方法により自らの稼ぎ(米やタバコなどを架空の貨幣とみなす収入)を生み出し、それを品替えて本州産の物品を獲得するという仕組み(場所請負制下の社会構造)のもとに置かれていたことを、本資料からは窺える。

本資料は、各種物品や各種労働等に関する価格の箇条書きという単純な体裁ではあるが、運上家による場所経営、すなわち場所請負制下におけるアイヌ社会の組織運営の基本的な構造をきわめて明快に示す基盤史料であると言える。

[B8] 上下ヨイチ御場所年中日記

本資料は、ヨイチ場所における一年間の年中行事とその対応を月ごとに書き記した書類である。表紙や文末(80ウ)に「文政十三年寅十一月改之」とあるので、文政一三年(一八三〇)にそれまでの取り扱いを改訂したものとなる。また80オに、「右者上下ヨイチ御場所年中取扱等荒増書認置候間、支配人帰郷之節ハ跡役之者江引継申候間、大切ニ相守取計ひ可致者也」とあることから、跡役(後任者)への取扱事務引き継ぎを目的に作成されたものであることがわかる。また79ウに「外追書別紙有是候」とあり、この「追書」は林梅家資料B9のことと考えられる。

本資料の類似史料としては、天保一四年(一八四三)の『上下ヨイチ御場所年中行事記』や、幕末期の『両歳取調歳中行司帳』などがあり²⁶⁾、これらを活用したヨイチ場所の年中行事や仕事暦の研究も行われている²⁷⁾。また本資

料とほぼ同時期の文政一一年(一八二八)の東蝦夷地子モロ場所の年中行事を記した史料に『祢毛呂年中行事』があり、それを分析した研究も行われている²⁸⁾。そのほか本資料の関係史料としては、文政七年(一八二四)のアツケシ場所の年中行事を記した史料²⁹⁾などがある。

これら場所年中行事関係史料の精緻な分析により、蝦夷地の各場所の共通点・相違点や、「場所」という地域社会の構造そのものに関する研究が今後展開されるであろう。

[B9] 上下与市御場所年中日記追書

本資料は、ヨイチ場所に関するさまざまな決まり事を箇条書きで記した書類である。表紙や文末(12オ)に「文政十三年寅十一月改之」とあるので、文政一三年(一八三〇)にそれまでの取り扱いを改訂したものとなる。内容は、場所境杭、通行蝦夷人足の継立や賃銭、役人通行時の賄料や出迎への作法、御用状継立、軽物、御用カズノコの献上、烽火台のことなどである。2オの内題に「追加」、文末の11ウに「右者御場所年中行事追加」とあり、林梅家資料B8の79ウに「外追書別紙有是候」とあることから、本資料はB8の附属文書と考えられる。

註

(1) 当館所蔵林梅家資料B4に「柏屋勘五郎」の記載がある。同資料B6文中の「支配人勘五郎」も同一人物をさすと考えられる。なお、ヨイチ場所の柏屋藤野家から竹屋林家への請負引継の過程については小林真人「余市場所の生産・漁業構造について―後松前藩政期を中心にして―」(『北海道開拓記念館調査報告』第二六号、北海道開拓記念館、一九八七年、一三―一八頁)を参照。

(2) 整理番号03H418。

(3) 松前藩の蝦夷地勤番所は、東蝦夷地に九か所(ヤムクシナイ、エトロフ)、西蝦夷地に二か所(イシカリ、ソウヤ)、北蝦夷地に一か所置かれ、警備のほか、蝦夷地における行政監督も任務としていた。ヨイチ場所は、イシカリ勤番所(詰所)の管

轄下にあったと考えられる。なお、松前藩の蝦夷地勤番体制については、北海道編『新撰北海道史 第二巻通説一』（清文堂出版、一九九〇年、復刻版）の五五五～五五八頁を参照のこと。

(4) 例えば、安政二年（一八五五）付けの余市水産博物館所蔵の林家文書Ⅲ・74などがある。

(5) 余市町総務課余市町史編集室編『余市町史 第一巻・資料編一』余市町、一九八五年、一一〇～一一四頁。番号1・7が付されている。

(6) 北海道立図書館本には、「上下ヨイチ蝦夷人家数人別書上」の部分に家数・人別の総計しか記載がなく、役付きアイヌの名前の記載がないなど、若干の相違が見られる。

(7) 例えば、余市水産博物館所蔵の林家文書Ⅰ・43、Ⅰ・44など。

(8) 上村雅洋『近江商人の経営史』清文堂、二〇〇〇年、五一頁。

(9) 最上徳内『渡島筆記』によると、オムシヤとは法度を読み聞かせること、または酒宴のこととされる（高倉新一郎校訂・解題・補註『日本庶民生活史料集成 第四巻 探検・紀行・地誌（北辺篇）』三一書房、一九六九年、五三五頁）。

(10) ここでの番船は、一番船、二番船の意で、春になつてはじめて到来する船のことである。

(11) 「二八取」は、「出稼人は其地請負人に漁穂高の二割を納め、自らは八割を取得するに依りかく俗に呼ばれた」とあるように（前掲(3)、『新撰北海道史』の六〇一頁）、請負人の許可を得て「免判」を取得して入漁する出稼ぎ和人参民のことである。

(12) 林家資料B1のなかに漁船数、困荷物の記載がある。ただしアイヌの借財についての記載はB1のなかには見当たらない。

(13) 償いとは、アイヌ社会の和睦・謝罪慣行であるツクナイ（宝物を提供することで詫び、誓いの印とする）の作法を用いた紛争解決方法のことである。詳しくは菊池勇夫「ツクナイ・起請文・御目見―蜂起鎮圧とアイヌの誓約」『北方史のなかの近世日本』校倉書房、一九九一年、一二二～一四八頁を参照のこと。

(14) 前掲(5)『余市町史 第一巻・資料編一』の一〇七～一〇九頁。同書では1・6(二九)の番号が付されている。同書の説明によると(二)～(二八)は一綴とある。したがって、「二九」は独立していたことになる。

(15) 前掲(5)『余市町史 第一巻・資料編一』の九二～九四頁。

(16) 余市水産博物館所蔵の林家文書Ⅲ・34。

(17) 「イチホ酒は、漁を終えて漁獲物の船積が完了したときの祝儀にあたる酒」であり、「春の番船（漁夫や資材などを運んでくる船）の到着祝の酒をイメキ酒といったも

のらしい（田端宏氏）」との記載がある（余市町史編集室編『余市町史 通史編3 近世2（場所請負制の展開）』余市町、二〇一七年、三六頁）。また、「夏イチホ酒弁才積入仕舞」『秋イチホ酒 御通行仕舞に相成候節』との記載もある（古平町史編集室委員編『古平町史 第一巻』古平町役場、一九七三年、八六～八七頁）。

(18) 場所経営に関する物品等を管理し、帳面に記帳する部署。

(19) 例えば、余市水産博物館所蔵の林家文書Ⅲ・2や、北海道立図書館所蔵の林家文書O3H14-1など。

(20) 爪印は、爪に墨を付けて押した印で、押印の代わりに用いられたものである。罪人の口書（供述書）などに押されるものである。

(21) 和人側が文書を作成し、アイヌに爪印をさせる例は、寛政元年（一七八九）のクナシリ・メナシの戦いの際の罪人処刑時や（松前町史編集室編『松前町史 通説編 第一巻 上』松前町、一九八四年、八三〇頁）、安政五年（一八五八）のニシベツ川争論の熟談書（岩崎奈緒子「蝦夷地場所請負制研究の新たな展開のために」北海道・東北史研究会編『場所請負制とアイヌ―近世蝦夷地史の構築をめざして』北海道出版企画センター、一九九八年、一九八頁）などに見られる。

(22) 文政八年（一八二五）六月付けの「上下よいち御場所蝦夷人別帳」（林家資料B10）には、ツツカイホは上ヨイチ場所の惣乙名イコンノミの弟で五六歳、イコンノミは六一歳、モトは上ヨイチ場所の脇乙名小使兼で五三歳（同年一月二五日に病死）、イナリは下ヨイチ場所の脇乙名で四〇歳、シイホロは上ヨイチ場所の「平夷」で五一歳と記載される。シイホロは無役であり、文政五年（一八二二）付けの林家資料B1の「小使」とする記載と相違がある。

(23) この解釈は、前掲(17)『余市町史 通史編3 近世2』（三四頁）に従った。同書ではツツカイホとイコンノミの間の半行の間隔に基づき、事件の中心人物Ⅱ「此主」はツツカイホであり、他の四人は加担者と解釈する。前掲(22)で指摘したように、詫び状作成時の文政八年（一八二五）八月時点のシイホロは、小使ではなく無役であった可能性がある。なお、文政九年（一八二六）六月付けの人間帳（林家資料B11）には、ヘツチャケ村の「平夷」シイホロ五二歳とあり、二月一三日病死の記載がある。シイホロが騒動勃発時に小使だったのか否かは、今のところ判断できない。

(24) 前掲(17)『余市町史 通史編3 近世2』（三四頁）は、この事件をヨイチアイヌの竹屋に対する最初の抵抗の事例と解釈する。単なる酩酊事件ではなく、その後のヨイチ場所における各種抵抗（待遇改善要求）の端緒と理解する見方は注目される。

- (25) 軽物とは、もともと松前藩がアイヌから独占的に買い上げた産物を意味し、具体的にはクマ皮、ラッコ皮などの狩猟生産物やサンタン交易品などのことであったが、文化九年（一八一二）以降は、キツネ皮・テン皮・カワウソ皮などの小皮類も含むようになった。詳しくは東俊佑「北蝦夷地ウシヨロ場所アイヌの軽物上納」（『北海道博物館研究紀要』第七号、二〇二一年）を参照のこと。
- (26) 『上下ヨイチ御場所年中行事記』は前掲(5)『余市町史 第一巻・資料編一』の八〇九〜八二三頁に翻刻掲載（番号I・33）。『両歳取調歳中行司帳』は前掲(5)『余市町史 第一巻・資料編一』の一七二〜一七三頁に翻刻掲載（番号I・67）。
- (27) 舟山直治「林家文書に見られる年中行事」（『北海道開拓記念館調査報告』第二五号、一九八六年）、同「続 林家文書に見られる年中行事」（『北海道開拓記念館調査報告』第二六号、一九八七年）、小林真人「場所請負制下の余市アイヌの生活と社会―文政から幕末期を中心として」（『積丹半島の自然と歴史―人文編（北海道開拓記念館研究報告 第一三三号）』北海道開拓記念館、一九九三年）など。
- (28) 菊池勇夫「場所年中行事とアイヌ―「ネモロ年中行事」の分析―」（『北方史のなかの近世日本』（校倉書房、一九九一年）の一七三〜二〇九頁）。
- (29) 北海道立図書館所蔵の林家文書093.Ha.24。表題がなく「覚」の名称が付されているが、内容はアッケシ場所における年中行事を月ごとに記載したものであり、「アツケシ御場所年中日要記」という題を付けてもよい史料である。

Historic Materials of the Family of HAYASHI Kaoru in Hokkaido Museum Collection Materials, Part 1

Materials Relating to the Early Period of Hayashi Family's Subcontracted Operation of Yoichi Basho

AZUMA Shunsuke, MIURA Yasuyuki and Charenga Komonjo Club

The HAYASHI Kaoru family materials are a collection of letters communicated to the Hayashi family, which served as *basho ukeoinin* (subcontracted trading post merchant manager) of Yoichi Basho during the late Edo period. Of these historic documents, this study examines nine letters from the early period of subcontracted operation of Yoichi Basho (around the 1820s-1830s), when the Hayashi family had first assumed the role of *basho ukeoinin*. We transcribe the entire text of each document from running-form, brush-written Japanese into block style, and describe each document in summary.

Entering the 19th century, the Ainu of Ezochi — who had autonomously and independently carried out trade activities — were placed under the *basho ukeoisei* (subcontracted trading post system). Existing research suggests that, under the system, the Ainu served as labor for fisheries and other industries organized by the *unjoya* (trade

posts), and that in exchange for their labor, the Ainu earned a share (salary) which could be exchanged to procure a variety of goods from the *unjoya*. However, existing research has not made definite findings of specific aspects of the subcontracted trading post system. This study introduces materials with detailed descriptions of various business arrangements at Yoichi Basho, providing detailed knowledge of the workings of basho operation and specific information about the activity of the Ainu. Our investigation of these materials is prospective for future development of research on the subcontracted trading post system.

This study is also one of the 2020-21 fiscal year accomplishments of "Charenga Komonjo Club", a paleography study group open for participation by Hokkaido residents that is active at Hokkaido Museum.